

「第4次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書 【令和6年度(2024年度)版】



恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市

令和7年(2025年)7月
熊 本 市

1 調査概要

(1) 調査目的

令和4年(2022年)3月に策定した第4次熊本市環境総合計画では、「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくりの推進」、「持続可能な脱炭素社会の実現」を重点的取組として位置づけている。また、本計画では、取組の実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

(2) 調査方法

①調査対象

熊本市在住の満18歳以上、満90歳未満の市民

②対象者の抽出方法

住民基本台帳より無作為抽出

③対象者数

3,000人

④調査方法

調査票を郵送で配布し、回答は郵送とWEBアンケートにより回収

⑤調査時期

令和6年(2024年)11月下旬から令和6年(2024年)12月27日まで

(3) 回収数

- ・1,040人 (回収率 34.67%)
(郵送回収 678人、WEB回収 362人)

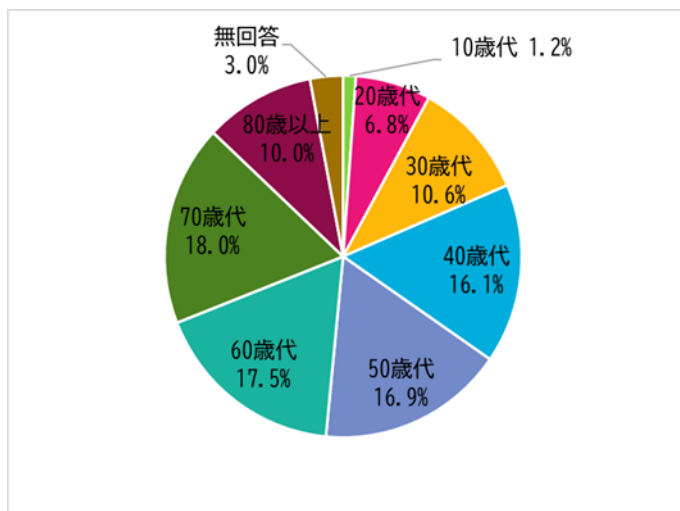
(4) 留意事項

- ・単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- ・提言や意見については誹謗中傷などを除いて掲載している。
- ・サンプル数が少ないものについては、属性別コメントを割愛する場合がある。

2 アンケート調査結果 令和6年度(2024年度)

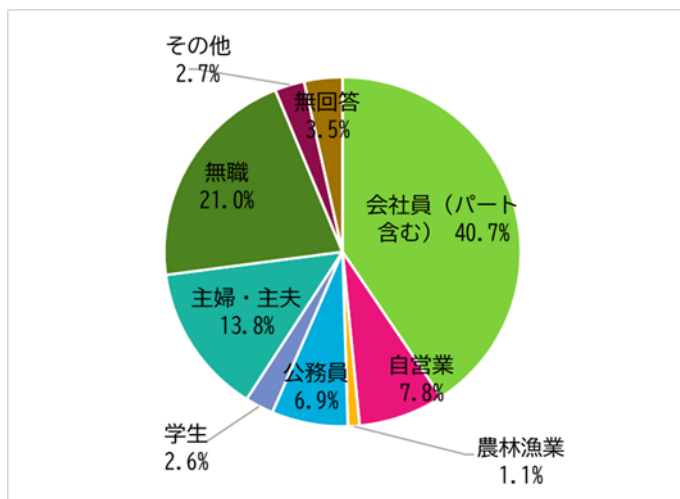
(1) 回答者の内訳

《年齢別》



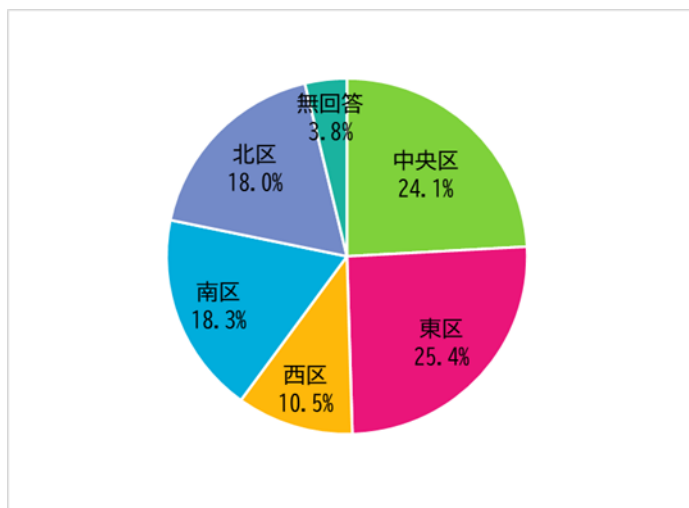
回答肢		回答数	割合
1	10歳代	12	1.2%
2	20歳代	71	6.8%
3	30歳代	110	10.6%
4	40歳代	167	16.1%
5	50歳代	176	16.9%
6	60歳代	182	17.5%
7	70歳代	187	18.0%
8	80歳以上	104	10.0%
10	無回答	31	3.0%
	合計	1,040	100.0%

《職業別》



回答肢		回答数	割合
1	会社員（パート含む）	423	40.7%
2	自営業	81	7.8%
3	農林漁業	11	1.1%
4	公務員	72	6.9%
5	学生	27	2.6%
6	主婦・主夫	144	13.8%
7	無職	218	21.0%
8	その他	28	2.7%
9	無回答	36	3.5%
	合計	1,040	100.0%

《回答者の居住区》



回答肢		回答数	割合
1	中央区	251	24.1%
2	東区	264	25.4%
3	西区	109	10.5%
4	南区	190	18.3%
5	北区	187	18.0%
6	無回答	39	3.8%
	合計	1,040	100.0%

《これまでの回答数と回答率の推移》



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
回答数 (人)	1, 117	1, 264	1, 152	1, 062	1, 051	1, 010	811	1, 068
回答率 (%)	37. 23	42. 13	38. 40	35. 40	35. 03	33. 67	27. 03	35. 60

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
回答数 (人)	1, 130	1, 223	1, 288	1, 016	942	1, 040
回答率 (%)	37. 67	40. 77	42. 93	33. 87	31. 40	34. 67

備考 平成30年度からインターネットによる回答を開始している。

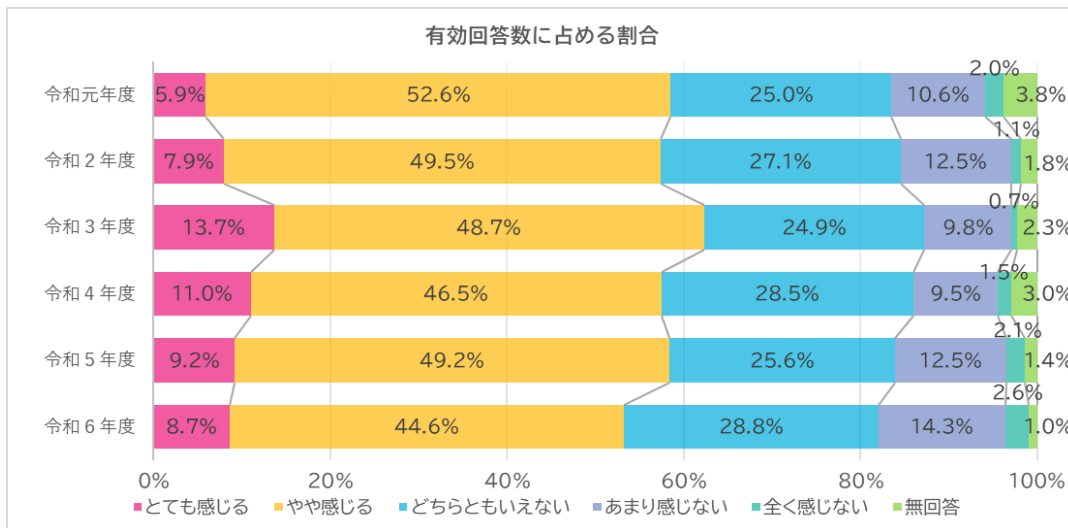
(2) 調査結果

■「熊本市の環境目標（基本計画）」について

問 1. あなたは、熊本市の良好な環境が守られていると感じますか。（1 つだけ）

「やや感じる」が 44.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.8%、「あまり感じない」が 14.3%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 53.3%で、前回調査と比較すると 5.1 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 10 歳代が 75.0%と最も高く、次いで 20 歳代（62.0%）、80 歳以上（60.6%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は 30 歳代が 20.0%と最も高く、次いで 60 歳代（18.1%）、50 歳代（17.6%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が 74.1%と最も高く、次いで農林漁業（63.7%）、公務員（62.5%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は自営業が 30.9%と最も高く、次いで主婦・主夫（16.7%）、無職（16.5%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が 63.3%と最も高く、次いで南区（56.9%）、東区（54.6%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は中央区が 19.5%、次いで南区（18.4%）、北区（16.5%）となっている。

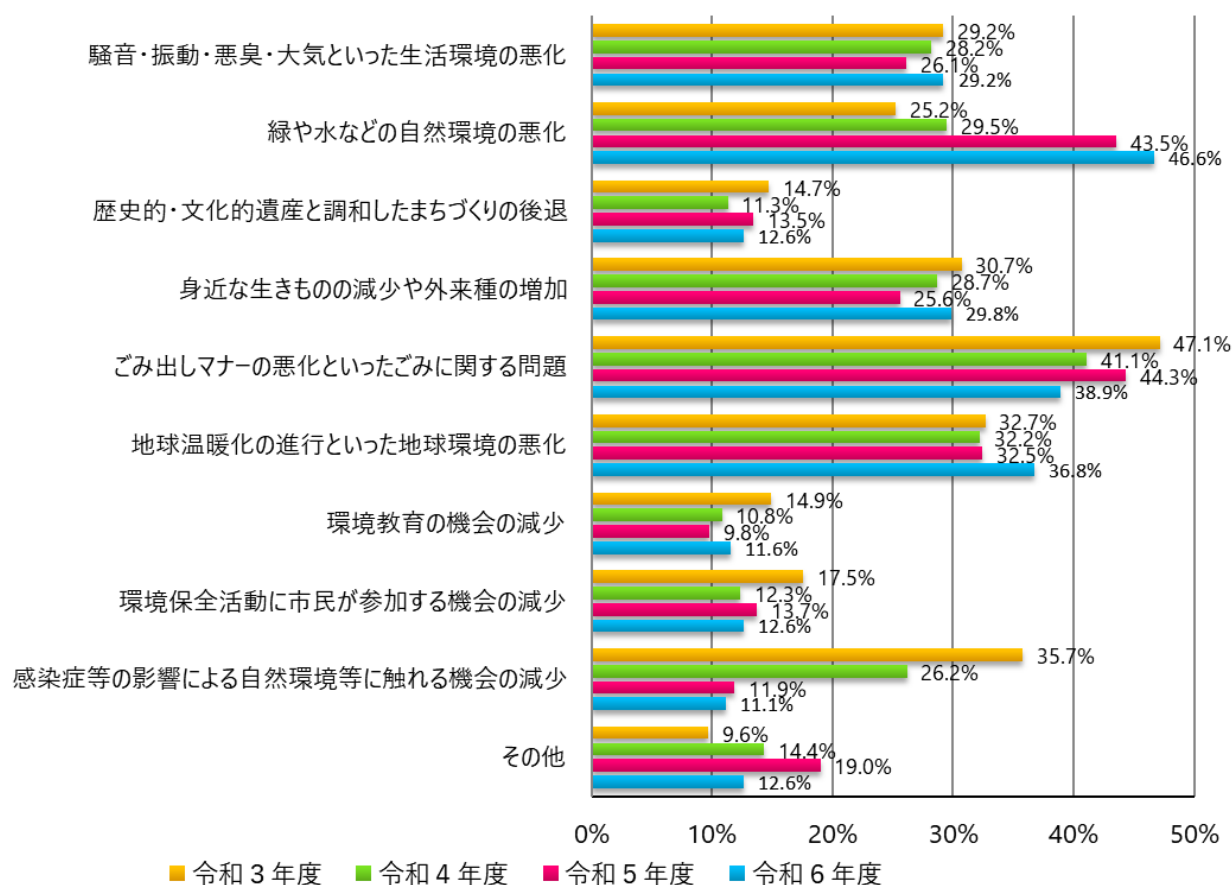
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	8.7%	44.6%	28.8%	14.3%	2.6%	1.0%
年齢別							
10歳代	12	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	71	15.5%	46.5%	23.9%	9.9%	4.2%	0.0%
30歳代	110	11.8%	44.5%	23.6%	15.5%	4.5%	0.0%
40歳代	167	10.8%	40.1%	31.7%	13.8%	3.6%	0.0%
50歳代	176	6.8%	42.6%	33.0%	15.3%	2.3%	0.0%
60歳代	182	8.2%	39.0%	33.5%	15.9%	2.2%	1.1%
70歳代	187	4.3%	51.9%	28.3%	11.8%	1.6%	2.1%
80歳以上	104	7.7%	52.9%	18.3%	17.3%	0.0%	3.8%
職業別							
会社員	423	7.3%	46.1%	30.5%	12.5%	3.1%	0.5%
自営業	81	8.6%	28.4%	32.1%	24.7%	6.2%	0.0%
農林漁業	11	18.2%	45.5%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%
公務員	72	20.8%	41.7%	22.2%	15.3%	0.0%	0.0%
学生	27	18.5%	55.6%	22.2%	0.0%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	144	7.6%	43.8%	31.3%	15.3%	1.4%	0.7%
無職	218	6.4%	49.1%	25.2%	15.6%	0.9%	2.8%
その他	28	7.1%	46.4%	32.1%	10.7%	3.6%	0.0%
地区別							
中央区	251	10.4%	38.2%	31.1%	16.7%	2.8%	0.8%
東区	264	7.6%	47.0%	29.9%	12.5%	2.3%	0.8%
西区	109	8.3%	55.0%	22.0%	11.9%	0.9%	1.8%
南区	190	11.6%	45.3%	24.2%	16.3%	2.1%	0.5%
北区	187	5.3%	45.5%	31.6%	12.8%	3.7%	1.1%

問1－1. 問1で3、4、5を選択された方にお尋ねします。

どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつでも可)

問1.で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と回答した476人については、「緑や水などの自然環境の悪化」が46.6%と最も高く、次いで「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」が38.9%、「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」が36.8%となっている。



【参考】

- 「その他」の内容
- ◇ 生活環境について
 - ・カラスによるごみステーションの被害が酷い。
 - ◇ 都市、道路、交通環境について
 - ・外灯が少ない。
 - ・渋滞が多い。
 - ・歩道が損傷しており、補修が必要。
 - ◇ 行政の取組について
 - ・公園が少ない、整備されていない。
 - ◇ 自然環境について
 - ・地下水の水質への懸念。
 - ・太陽光パネル設置による環境への影響。
 - ◇ 意識について
 - ・バイクによる騒音問題。
 - ・資源ごみの持ち去り。
 - ・廃棄物の野外焼却が行われている。
 - ◇ その他
 - ・あまり意識したことがない。

【属性別回答】

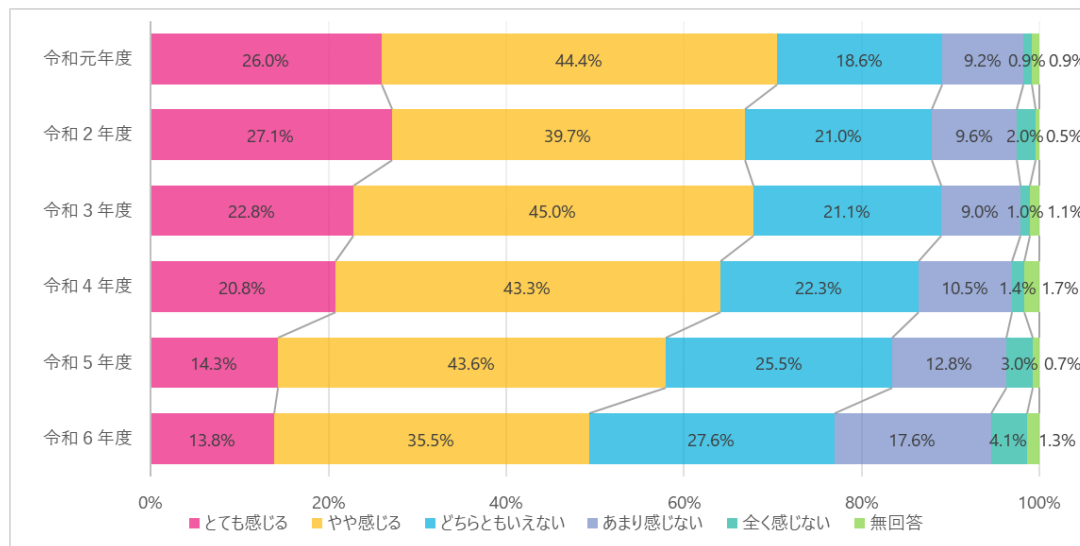
	合計	騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化	緑や水などの自然環境の悪化	歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退	身近な生きものの減少や外来種の増加	ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題	地球温暖化の進行といった地球環境の悪化	環境教育の機会の減少	環境保全活動に市民が参加する機会の減少	感染症等の影響による自然環境等に触れる機会の減少	その他
全体	476	29.2%	46.6%	12.6%	29.8%	38.9%	36.8%	11.6%	12.6%	11.1%	12.6%
年齢別											
10歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
20歳代	27	55.6%	37.0%	3.7%	7.4%	29.6%	33.3%	22.2%	14.8%	14.8%	0.0%
30歳代	48	41.7%	47.9%	10.4%	27.1%	39.6%	27.1%	18.8%	12.5%	10.4%	10.4%
40歳代	82	30.5%	50.0%	15.9%	28.0%	50.0%	29.3%	8.5%	11.0%	8.5%	18.3%
50歳代	89	36.0%	51.7%	12.4%	28.1%	38.2%	34.8%	6.7%	9.0%	10.1%	14.6%
60歳代	94	23.4%	42.6%	14.9%	33.0%	36.2%	40.4%	9.6%	18.1%	9.6%	12.8%
70歳代	78	16.7%	50.0%	15.4%	41.0%	25.6%	46.2%	14.1%	14.1%	12.8%	6.4%
80歳以上	37	8.1%	45.9%	5.4%	32.4%	48.6%	54.1%	8.1%	5.4%	13.5%	16.2%
職業別											
会社員	195	33.3%	48.2%	9.7%	26.2%	41.0%	32.8%	10.8%	11.8%	10.3%	10.3%
自営業	51	25.5%	47.1%	13.7%	29.4%	33.3%	41.2%	7.8%	13.7%	7.8%	27.5%
農林漁業	4	50.0%	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	27	33.3%	37.0%	11.1%	44.4%	25.9%	22.2%	7.4%	0.0%	3.7%	11.1%
学生	7	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
主婦・主夫	69	26.1%	55.1%	13.0%	34.8%	36.2%	40.6%	13.0%	11.6%	11.6%	10.1%
無職	91	19.8%	41.8%	18.7%	35.2%	40.7%	48.4%	13.2%	19.8%	15.4%	8.8%
その他	13	15.4%	61.5%	15.4%	15.4%	38.5%	38.5%	23.1%	7.7%	15.4%	15.4%
地区別											
中央区	127	26.8%	39.4%	14.2%	25.2%	36.2%	35.4%	8.7%	11.8%	11.8%	19.7%
東区	118	36.4%	49.2%	9.3%	36.4%	46.6%	33.1%	13.6%	11.9%	9.3%	10.2%
西区	38	28.9%	50.0%	13.2%	26.3%	44.7%	39.5%	10.5%	13.2%	10.5%	15.8%
南区	81	27.2%	48.1%	14.8%	34.6%	35.8%	40.7%	14.8%	14.8%	13.6%	4.9%
北区	90	24.4%	54.4%	13.3%	25.6%	32.2%	42.2%	8.9%	12.2%	8.9%	8.9%

問2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が35.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.6%、「あまり感じない」が17.6%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は49.3%で、前回調査と比較すると8.6ポイント減少している。

令和3年以降、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が66.7%と最も高く、次いで80歳以上（56.8%）、70歳代（53.5%）となっている。

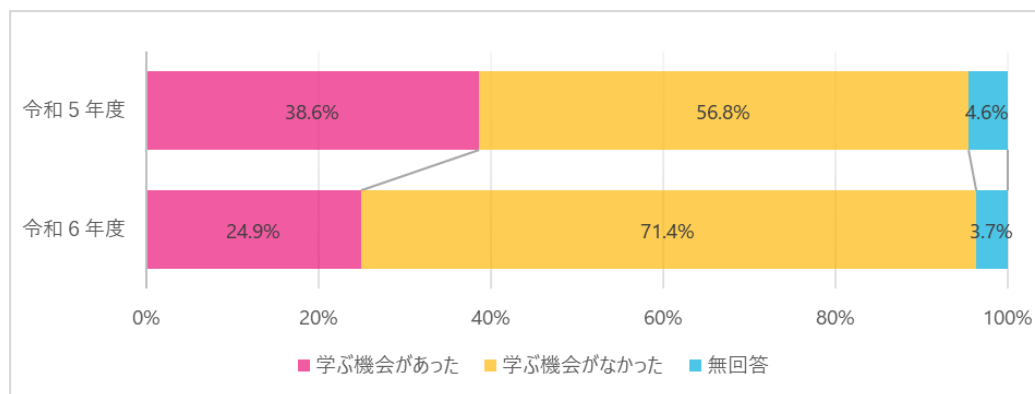
地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が55.3%と最も高く、次いで西区（53.2%）、東区（50.7%）となっている。

【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	13.8%	35.5%	27.6%	17.6%	4.1%	1.3%
年齢別							
10歳代	12	25.0%	41.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
20歳代	71	21.1%	31.0%	32.4%	12.7%	2.8%	0.0%
30歳代	110	17.3%	25.5%	31.8%	19.1%	6.4%	0.0%
40歳代	167	12.0%	37.7%	28.7%	13.8%	7.8%	0.0%
50歳代	176	9.7%	36.4%	27.3%	21.6%	3.4%	1.7%
60歳代	182	12.6%	35.2%	26.9%	22.0%	2.7%	0.5%
70歳代	187	11.8%	41.7%	20.9%	18.7%	2.7%	4.3%
80歳以上	104	21.2%	35.6%	29.8%	7.7%	3.8%	1.9%
職業別							
会社員	423	12.3%	36.6%	27.0%	19.1%	4.5%	0.5%
自営業	81	8.6%	28.4%	27.2%	22.2%	11.1%	2.5%
農林漁業	11	27.3%	18.2%	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%
公務員	72	23.6%	36.1%	20.8%	15.3%	2.8%	1.4%
学生	27	14.8%	40.7%	29.6%	14.8%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	11.8%	33.3%	32.6%	17.4%	2.8%	2.1%
無職	218	17.4%	38.1%	24.8%	15.1%	1.8%	2.8%
その他	28	7.1%	42.9%	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%
地区別							
中央区	251	10.8%	35.5%	29.9%	17.1%	4.4%	2.4%
東区	264	14.0%	36.7%	27.7%	17.0%	4.2%	0.4%
西区	109	18.3%	34.9%	24.8%	20.2%	0.9%	0.9%
南区	190	17.9%	37.4%	23.7%	15.3%	4.2%	1.6%
北区	187	12.3%	34.2%	28.3%	18.2%	5.9%	1.1%

問3.「生物多様性」について学ぶ機会（メディアやSNSの視聴、イベントや自然観察会での体験など）がありましたか。（1つだけ）

「学ぶ機会があった」が24.9%、「学ぶ機会がなかった」が71.4%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

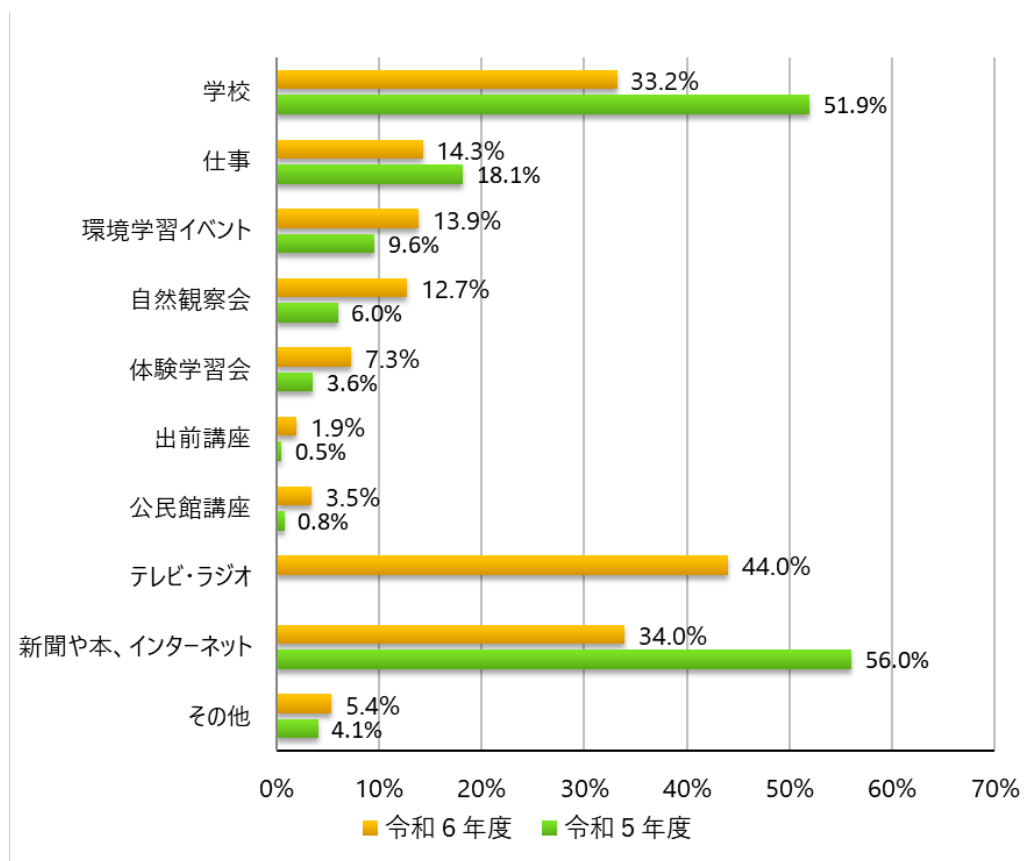
年代別：「学ぶ機会があった」は20歳代が36.6%と最も高く、10歳代（33.3%）、30歳代（31.8%）となっている。

職業別：「学ぶ機会があった」は学生が44.4%と他の年代より高く、次いで自営業が34.6%となっている。「学ぶ機会がなかった」は会社員が74.2%と最も高く、次いで主婦・主夫（72.9%）、農林漁業（72.7%）となっている。

【属性別回答】

	合計	学ぶ機会があつた	学ぶ機会がなかった	無回答
全体	1,040	24.9%	71.4%	3.7%
年齢別				
10歳代	12	33.3%	66.7%	0.0%
20歳代	71	36.6%	63.4%	0.0%
30歳代	110	31.8%	68.2%	0.0%
40歳代	167	24.6%	74.9%	0.6%
50歳代	176	25.6%	74.4%	0.0%
60歳代	182	19.8%	76.9%	3.3%
70歳代	187	21.9%	70.6%	7.5%
80歳以上	104	25.0%	60.6%	14.4%
職業別				
会社員	423	24.3%	74.2%	1.4%
自営業	81	34.6%	65.4%	0.0%
農林漁業	11	27.3%	72.7%	0.0%
公務員	72	27.8%	70.8%	1.4%
学生	27	44.4%	55.6%	0.0%
主婦・主夫	144	20.8%	72.9%	6.3%
無職	218	22.9%	69.3%	7.8%
その他	28	28.6%	71.4%	0.0%
地区別				
中央区	251	30.3%	65.7%	4.0%
東区	264	24.2%	72.3%	3.4%
西区	109	22.0%	72.5%	5.5%
南区	190	23.2%	73.7%	3.2%
北区	187	23.5%	73.8%	2.7%

問3-1. 問3で1を選択された方にお尋ねします。どのような方法で学びましたか。(いくつでも可)
「テレビ、ラジオ」が44.0%と最も高く、次いで「新聞や本、インターネット」が34.0%、「学校」が33.2%となっている。



【参考】

「その他」の回答

- ・登山。
- ・ボランティア活動や趣味の活動。
- ・SNS。
- ・講演会。

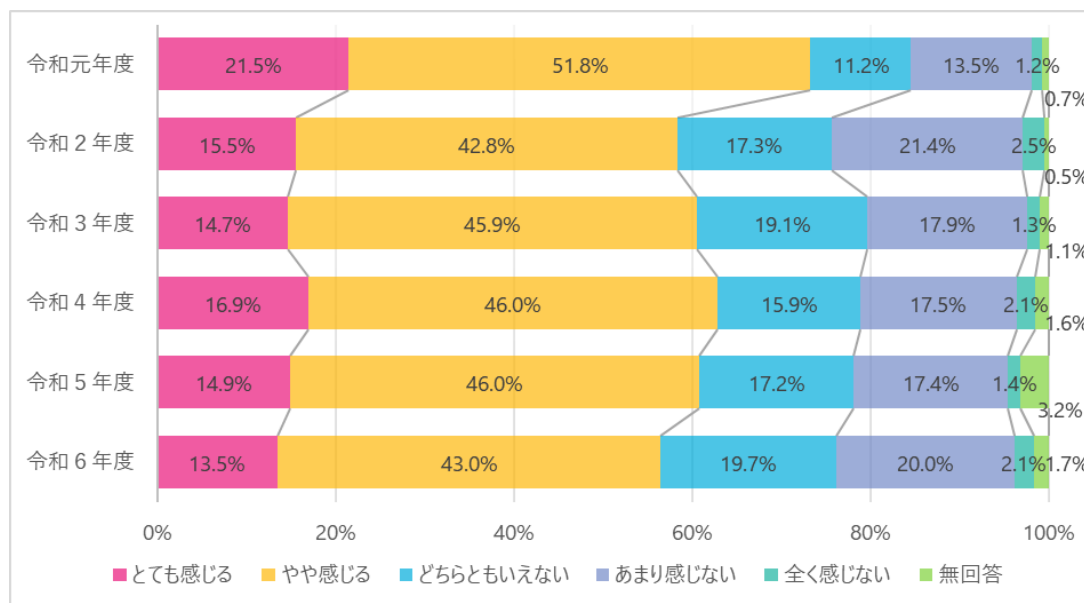
【属性別回答】

	合計	学校	仕事	環境学習イベント	自然観察会	体験学習会	出前講座	公民館講座	テレビ・ラジオ	新聞や本、インターネット	その他
全体	259	33.2%	14.3%	13.9%	12.7%	7.3%	1.9%	3.5%	44.0%	34.0%	5.4%
年齢別											
10歳代	4	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
20歳代	26	88.5%	3.8%	11.5%	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	26.9%	19.2%	0.0%
30歳代	35	71.4%	8.6%	2.9%	11.4%	5.7%	0.0%	0.0%	25.7%	20.0%	0.0%
40歳代	41	22.0%	22.0%	19.5%	9.8%	12.2%	2.4%	2.4%	36.6%	34.1%	9.8%
50歳代	45	22.2%	20.0%	20.0%	15.6%	6.7%	0.0%	4.4%	33.3%	33.3%	11.1%
60歳代	36	13.9%	25.0%	19.4%	16.7%	11.1%	5.6%	2.8%	47.2%	50.0%	2.8%
70歳代	41	12.2%	7.3%	9.8%	17.1%	0.0%	0.0%	7.3%	56.1%	31.7%	9.8%
80歳以上	26	19.2%	11.5%	11.5%	19.2%	3.8%	7.7%	7.7%	84.6%	50.0%	0.0%
職業別											
会社員	103	42.7%	17.5%	8.7%	10.7%	6.8%	0.0%	0.0%	30.1%	33.0%	1.9%
自営業	28	21.4%	17.9%	28.6%	25.0%	14.3%	7.1%	3.6%	42.9%	42.9%	17.9%
農林漁業	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%
公務員	20	25.0%	35.0%	20.0%	5.0%	15.0%	0.0%	0.0%	30.0%	25.0%	0.0%
学生	12	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
主婦・主夫	30	16.7%	3.3%	13.3%	10.0%	0.0%	3.3%	10.0%	63.3%	46.7%	3.3%
無職	50	22.0%	6.0%	12.0%	16.0%	6.0%	4.0%	8.0%	70.0%	34.0%	6.0%
その他	8	12.5%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
地区別											
中央区	76	30.3%	15.8%	11.8%	13.2%	7.9%	1.3%	6.6%	44.7%	32.9%	6.6%
東区	64	37.5%	18.8%	20.3%	15.6%	7.8%	1.6%	1.6%	43.8%	29.7%	3.1%
西区	24	20.8%	4.2%	12.5%	12.5%	0.0%	4.2%	4.2%	54.2%	45.8%	4.2%
南区	44	38.6%	9.1%	15.9%	13.6%	11.4%	2.3%	4.5%	31.8%	34.1%	4.5%
北区	44	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	6.8%	2.3%	0.0%	43.2%	34.1%	6.8%

問4. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が 43.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が 20.0%、「どちらともいえない」が 19.7%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 56.5%で、前回調査と比較すると 4.4 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 80 歳以上が 64.4%、次いで 50 歳代 (59.6%)、70 歳代 (56.7%) となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員が 61.1%と最も高く、次いで無職 (58.8%)、その他 (57.1%) となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が 63.3%と最も高く、次いで南区 (59.4%)、東区 (56.8%) となっている。

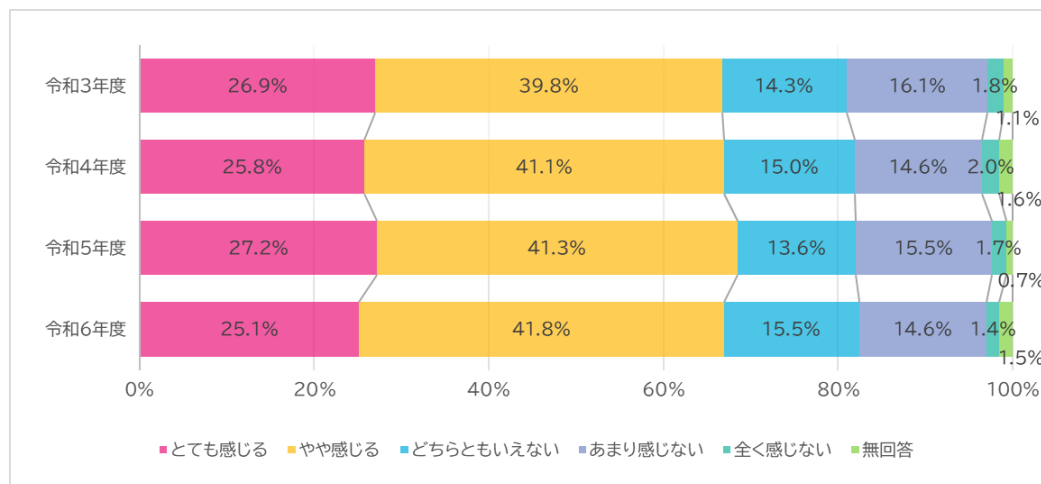
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	13.5%	43.0%	19.7%	20.0%	2.1%	1.7%
年齢別							
10歳代	12	8.3%	33.3%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%
20歳代	71	14.1%	35.2%	19.7%	28.2%	2.8%	0.0%
30歳代	110	10.9%	37.3%	20.0%	28.2%	3.6%	0.0%
40歳代	167	14.4%	41.3%	19.2%	21.0%	3.6%	0.6%
50歳代	176	10.2%	49.4%	21.6%	14.8%	2.8%	1.1%
60歳代	182	18.1%	38.5%	21.4%	19.2%	1.1%	1.6%
70歳代	187	11.2%	45.5%	19.8%	19.8%	1.1%	2.7%
80歳以上	104	16.3%	48.1%	13.5%	15.4%	1.0%	5.8%
職業別							
会社員	423	11.6%	44.0%	21.3%	19.4%	2.6%	1.2%
自営業	81	14.8%	35.8%	14.8%	33.3%	1.2%	0.0%
農林漁業	11	9.1%	36.4%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%
公務員	72	20.8%	40.3%	16.7%	19.4%	1.4%	1.4%
学生	27	18.5%	37.0%	14.8%	29.6%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	11.1%	45.8%	22.2%	18.1%	1.4%	1.4%
無職	218	16.1%	42.7%	19.7%	16.5%	2.3%	2.8%
その他	28	10.7%	46.4%	7.1%	28.6%	3.6%	3.6%
地区別							
中央区	251	13.1%	38.2%	18.7%	25.1%	2.8%	2.0%
東区	264	11.7%	45.1%	23.1%	15.9%	2.3%	1.9%
西区	109	22.0%	41.3%	16.5%	16.5%	0.9%	2.8%
南区	190	14.7%	44.7%	16.3%	21.6%	2.1%	0.5%
北区	187	10.7%	44.4%	21.4%	19.8%	2.1%	1.6%

問5. お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が41.8%と最も高く、次いで「とても感じる」が25.1%、「どちらともいえない」が15.5%となっている。

「とても感じる」、「やや感じる」を合わせた割合は66.9%で、前回の調査と比較すると1.6ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が83.3%と最も高く、次いで70歳代（71.7%）、60歳代（69.8%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が81.9%と最も高く、次いで学生（77.7%）、公務員（70.8%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が78.9%と最も高く、次いで北区（77.0%）、南区（66.8%）となっている。

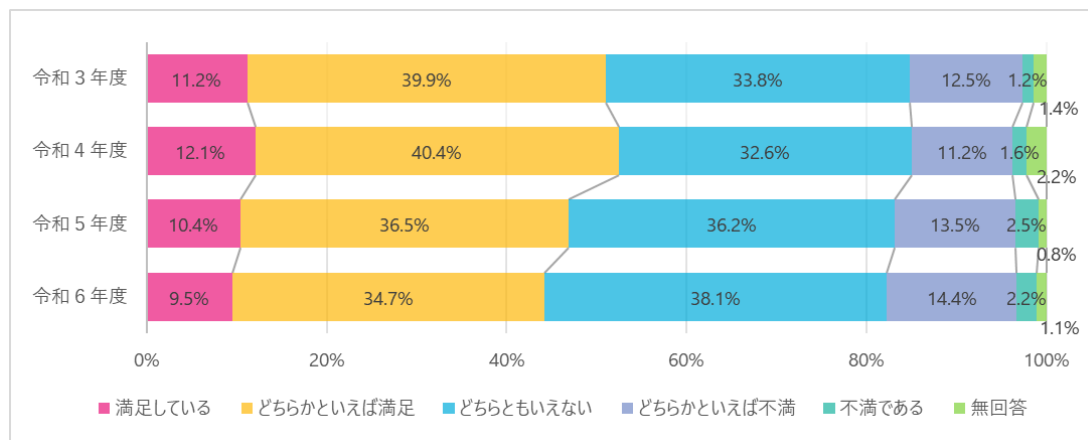
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	25.1%	41.8%	15.5%	14.6%	1.4%	1.5%
年齢別							
10歳代	12	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
20歳代	71	29.6%	31.0%	12.7%	25.4%	1.4%	0.0%
30歳代	110	19.1%	34.5%	13.6%	31.8%	0.9%	0.0%
40歳代	167	21.0%	46.7%	16.8%	12.0%	3.0%	0.6%
50歳代	176	21.0%	46.6%	16.5%	12.5%	2.3%	1.1%
60歳代	182	29.1%	40.7%	19.2%	9.3%	0.0%	1.6%
70歳代	187	32.1%	39.6%	15.0%	9.6%	1.1%	2.7%
80歳以上	104	23.1%	39.4%	14.4%	17.3%	1.9%	3.8%
職業別							
会社員	423	21.5%	43.3%	15.1%	17.0%	1.9%	1.2%
自営業	81	25.9%	34.6%	14.8%	24.7%	0.0%	0.0%
農林漁業	11	45.5%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
公務員	72	34.7%	36.1%	15.3%	12.5%	0.0%	1.4%
学生	27	29.6%	48.1%	14.8%	7.4%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	21.5%	46.5%	16.0%	13.9%	1.4%	0.7%
無職	218	28.9%	39.9%	17.4%	9.6%	1.8%	2.3%
その他	28	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	3.6%	3.6%
地区別							
中央区	251	13.9%	39.0%	17.9%	25.1%	2.0%	2.0%
東区	264	18.9%	47.7%	17.0%	12.9%	1.5%	1.9%
西区	109	50.5%	28.4%	11.9%	7.3%	0.9%	0.9%
南区	190	27.9%	38.9%	17.4%	13.7%	1.6%	0.5%
北区	187	32.6%	44.4%	10.7%	9.6%	1.1%	1.6%

問6. 中心市街地の「緑の質」に満足していますか。(1つだけ)

「どちらともいえない」が38.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足」が34.7%、「どちらかといえば不満」が14.4%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は44.2%で、前回の調査と比較すると2.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は10歳代が50.0%と最も高く、次いで80歳以上が(49.1%)、30歳代(46.4%)となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は公務員が54.2%と最も高く、次いで学生(48.1%)、無職(47.2%)となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は西区が55.0%と最も高く、次いで南区(49.5%)、北区(43.3%)となっている。

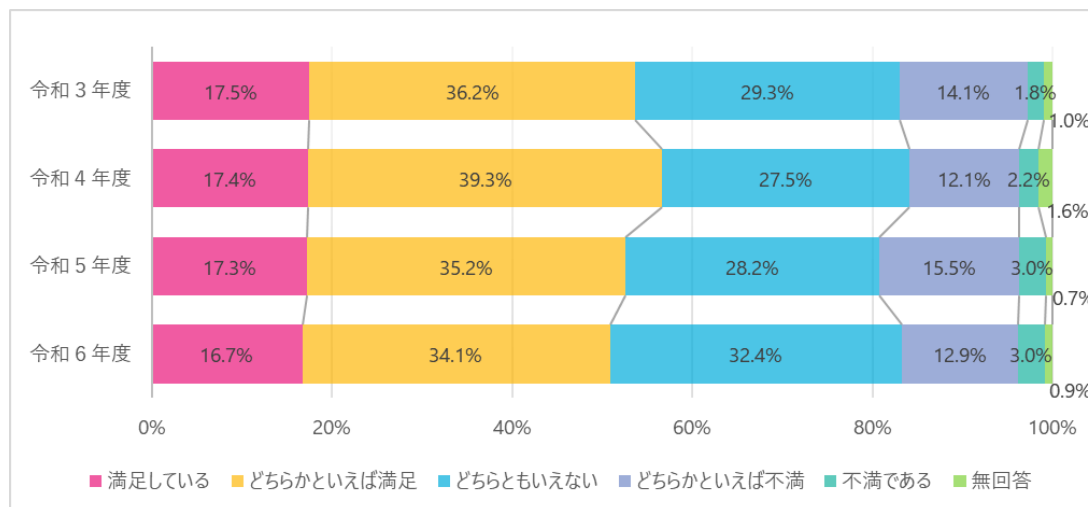
【属性別回答】

	合計	満足している	どちらかといえ ば満足	どちらともい えない	どちらかとい えは不満	不満である	無回答
全体	1,040	9.5%	34.7%	38.1%	14.4%	2.2%	1.1%
年齢別							
10歳代	12	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	71	12.7%	32.4%	39.4%	14.1%	1.4%	0.0%
30歳代	110	8.2%	38.2%	36.4%	15.5%	1.8%	0.0%
40歳代	167	12.6%	31.7%	37.7%	13.2%	4.2%	0.6%
50歳代	176	6.3%	35.2%	44.3%	12.5%	1.7%	0.0%
60歳代	182	8.2%	37.9%	36.3%	13.7%	3.3%	0.5%
70歳代	187	11.2%	29.9%	37.4%	17.1%	1.6%	2.7%
80歳以上	104	10.6%	38.5%	31.7%	14.4%	1.0%	3.8%
職業別							
会社員	423	7.1%	36.2%	40.0%	13.9%	2.4%	0.5%
自営業	81	9.9%	33.3%	33.3%	19.8%	3.7%	0.0%
農林漁業	11	0.0%	45.5%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%
公務員	72	18.1%	36.1%	30.6%	11.1%	2.8%	1.4%
学生	27	11.1%	37.0%	44.4%	7.4%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	9.7%	31.3%	44.4%	11.1%	1.4%	2.1%
無職	218	12.8%	34.4%	34.9%	14.2%	1.8%	1.8%
その他	28	3.6%	28.6%	35.7%	25.0%	7.1%	0.0%
地区別							
中央区	251	10.8%	29.1%	43.0%	14.7%	1.6%	0.8%
東区	264	9.8%	32.2%	38.6%	14.4%	3.8%	1.1%
西区	109	11.0%	44.0%	30.3%	12.8%	0.9%	0.9%
南区	190	9.5%	40.0%	31.1%	16.3%	1.6%	1.6%
北区	187	6.4%	36.9%	41.2%	11.8%	2.7%	1.1%

問7. お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1つだけ)

「どちらかといえば満足」が34.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.4%、「満足している」が16.7%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は50.8%で、前回の調査と比較すると1.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は10歳代が66.7%と最も高く、次いで70歳代（55.6%）、60歳代（51.7%）となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は学生が66.6%と最も高く、次いで農林漁業（63.7%）、公務員（52.8%）となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は西区が61.4%と最も高く、次いで北区（54.5%）、東区（51.1%）となっている。

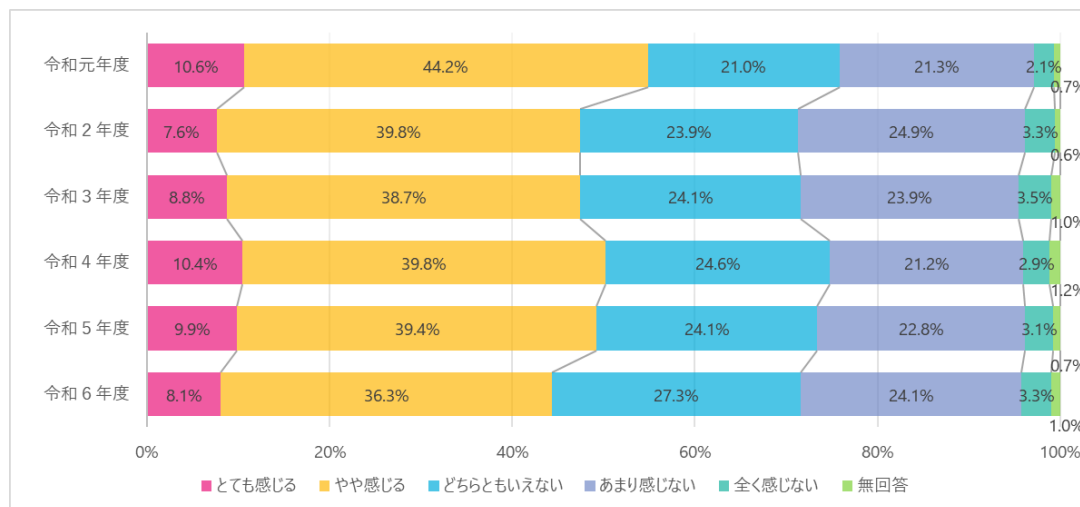
【属性別回答】

	合計	満足している	どちらかといえ ば満足	どちらともい えない	どちらかとい えば不満	不満である	無回答
全体	1,040	16.7%	34.1%	32.4%	12.9%	3.0%	0.9%
年齢別							
10歳代	12	25.0%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	71	15.5%	33.8%	26.8%	19.7%	4.2%	0.0%
30歳代	110	12.7%	36.4%	32.7%	14.5%	3.6%	0.0%
40歳代	167	18.6%	30.5%	32.3%	13.8%	4.8%	0.0%
50歳代	176	11.4%	36.4%	36.9%	12.5%	2.8%	0.0%
60歳代	182	17.6%	34.1%	30.8%	14.3%	2.7%	0.5%
70歳代	187	21.9%	33.7%	30.5%	10.7%	1.1%	2.1%
80歳以上	104	18.3%	31.7%	34.6%	9.6%	1.9%	3.8%
職業別							
会社員	423	12.8%	36.2%	33.1%	14.9%	2.6%	0.5%
自営業	81	21.0%	25.9%	25.9%	19.8%	7.4%	0.0%
農林漁業	11	27.3%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
公務員	72	23.6%	29.2%	31.9%	12.5%	1.4%	1.4%
学生	27	22.2%	44.4%	29.6%	3.7%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	19.4%	31.9%	36.1%	9.0%	2.1%	1.4%
無職	218	18.8%	33.9%	32.1%	11.5%	2.3%	1.4%
その他	28	14.3%	32.1%	35.7%	7.1%	10.7%	0.0%
地区別							
中央区	251	13.5%	31.9%	35.1%	16.3%	2.4%	0.8%
東区	264	16.3%	34.8%	29.5%	14.4%	3.8%	1.1%
西区	109	28.4%	33.0%	24.8%	12.8%	0.9%	0.0%
南区	190	17.4%	30.0%	36.8%	12.1%	2.6%	1.1%
北区	187	14.4%	40.1%	32.6%	8.0%	3.7%	1.1%

問8. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が36.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.3%、「あまり感じない」が24.1%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は44.4%で、前回調査と比較すると4.9ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が66.7%と最も高く、次いで20歳代（60.5%）、30歳代（55.4%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が77.7%と最も高く、次いで会社員（46.1%）、公務員（45.9%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が51.1%と最も高く、次いで西区（49.5%）、東区（42.0%）となっている。

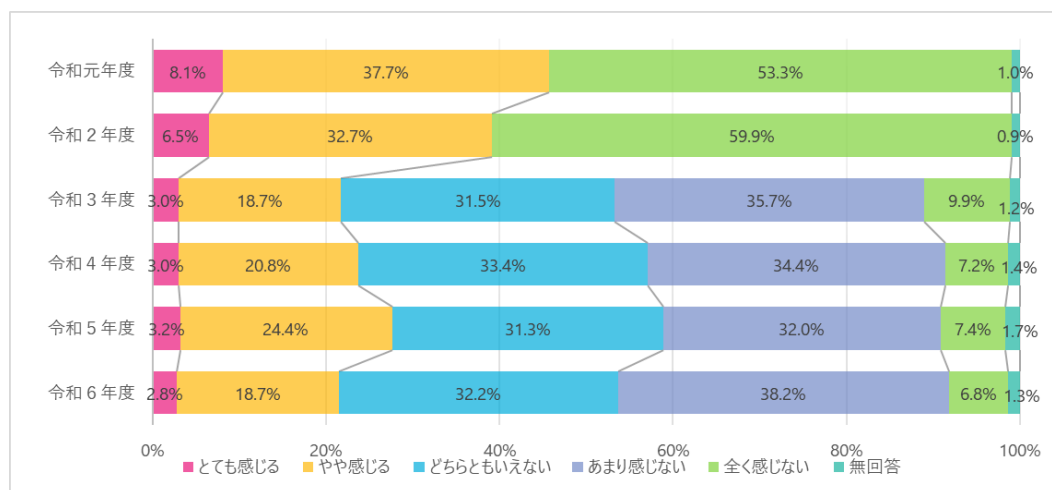
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	8.1%	36.3%	27.3%	24.1%	3.3%	1.0%
年齢別							
10歳代	12	25.0%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%
20歳代	71	21.1%	39.4%	23.9%	12.7%	2.8%	0.0%
30歳代	110	12.7%	42.7%	17.3%	25.5%	1.8%	0.0%
40歳代	167	6.6%	32.9%	32.9%	22.8%	4.8%	0.0%
50歳代	176	6.3%	30.1%	35.8%	25.0%	2.8%	0.0%
60歳代	182	6.0%	36.3%	25.8%	26.4%	4.9%	0.5%
70歳代	187	4.3%	35.8%	26.2%	29.4%	1.6%	2.7%
80歳以上	104	8.7%	39.4%	26.9%	18.3%	2.9%	3.8%
職業別							
会社員	423	7.3%	38.8%	26.7%	24.1%	2.6%	0.5%
自営業	81	8.6%	25.9%	25.9%	34.6%	4.9%	0.0%
農林漁業	11	9.1%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%
公務員	72	18.1%	27.8%	30.6%	20.8%	1.4%	1.4%
学生	27	29.6%	48.1%	11.1%	7.4%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	144	6.3%	34.7%	30.6%	24.3%	2.8%	1.4%
無職	218	5.5%	36.7%	28.4%	23.9%	3.7%	1.8%
その他	28	3.6%	32.1%	35.7%	17.9%	10.7%	0.0%
地区別							
中央区	251	6.8%	33.5%	31.9%	23.5%	3.2%	1.2%
東区	264	8.3%	33.7%	30.3%	22.7%	3.8%	1.1%
西区	109	7.3%	42.2%	28.4%	21.1%	0.9%	0.0%
南区	190	10.0%	41.1%	18.9%	25.3%	3.7%	1.1%
北区	187	8.6%	33.2%	26.7%	26.7%	3.7%	1.1%

問9. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「あまり感じない」が38.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.2%、「やや感じる」が18.7%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は21.5%で、前回の調査と比較すると6.1ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が33.3%と最も高く、次いで80歳以上（27.9%）、50歳代（26.1%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が33.3%と最も高く、次いで主婦・主夫（26.4%）、無職（22.0%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は東区が23.1%と最も高く、次いで西区（22.9%）、中央区（22.3%）となっている。

【属性別回答】

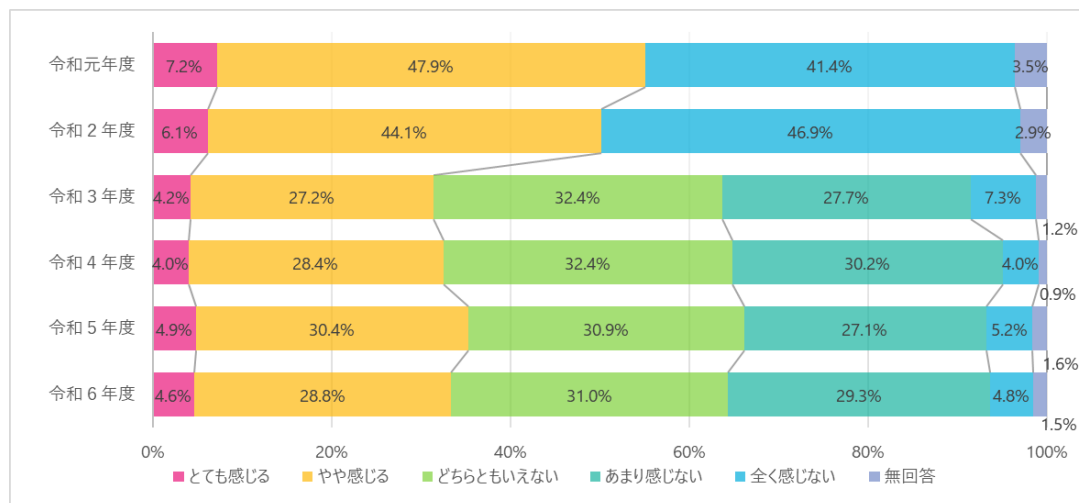
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	2.8%	18.7%	32.2%	38.2%	6.8%	1.3%
年齢別							
10歳代	12	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
20歳代	71	1.4%	12.7%	31.0%	47.9%	7.0%	0.0%
30歳代	110	3.6%	16.4%	30.9%	36.4%	12.7%	0.0%
40歳代	167	3.6%	16.8%	32.9%	36.5%	9.6%	0.6%
50歳代	176	3.4%	22.7%	36.4%	33.0%	4.0%	0.6%
60歳代	182	2.2%	19.2%	32.4%	38.5%	7.1%	0.5%
70歳代	187	2.7%	16.6%	28.3%	43.9%	5.3%	3.2%
80歳以上	104	1.9%	26.0%	26.0%	36.5%	4.8%	4.8%
職業別							
会社員	423	2.4%	18.7%	31.9%	39.5%	7.1%	0.5%
自営業	81	4.9%	14.8%	37.0%	32.1%	11.1%	0.0%
農林漁業	11	0.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
公務員	72	4.2%	15.3%	33.3%	36.1%	9.7%	1.4%
学生	27	3.7%	29.6%	40.7%	22.2%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	144	2.1%	24.3%	30.6%	35.4%	4.2%	3.5%
無職	218	3.2%	18.8%	28.9%	39.9%	6.9%	2.3%
その他	28	0.0%	21.4%	28.6%	42.9%	7.1%	0.0%
地区別							
中央区	251	2.8%	19.5%	27.1%	41.8%	6.8%	2.0%
東区	264	3.8%	19.3%	33.7%	32.6%	9.5%	1.1%
西区	109	0.9%	22.0%	33.0%	38.5%	4.6%	0.9%
南区	190	4.2%	16.3%	33.7%	37.9%	6.3%	1.6%
北区	187	0.5%	19.3%	32.1%	41.2%	5.9%	1.1%

問 10. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1 つだけ)

(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

「どちらともいえない」が 31.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が 29.3%、「やや感じる」が 28.8%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 33.4%で、前回の調査と比較すると 1.9 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 80 歳以上が 52.9%と最も高く、次いで 70 歳代 (37.4%)、30 歳代 (33.6%) となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が 63.6%と最も高く、次いでその他 (42.9%)、無職 (38.1%) となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が 37.9%と最も高く、次いで北区 (36.9%)、西区 (36.7%) となっている。

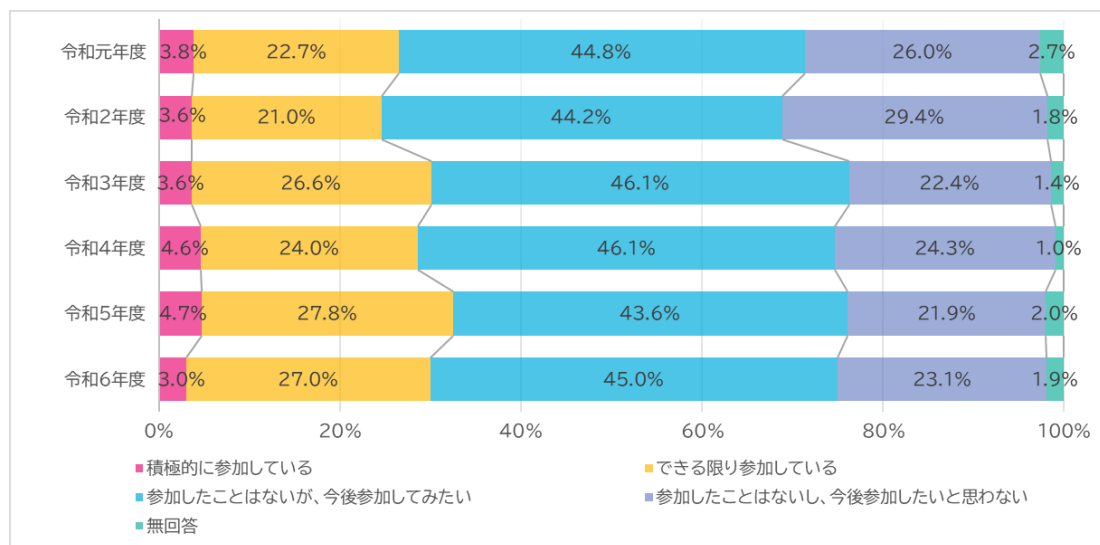
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,040	4.6%	28.8%	31.0%	29.3%	4.8%	1.5%
年齢別							
10歳代	12	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20歳代	71	1.4%	28.2%	26.8%	38.0%	5.6%	0.0%
30歳代	110	3.6%	30.0%	25.5%	30.9%	10.0%	0.0%
40歳代	167	5.4%	22.2%	38.3%	28.1%	6.0%	0.0%
50歳代	176	3.4%	24.4%	40.9%	29.0%	2.3%	0.0%
60歳代	182	3.3%	26.9%	30.2%	34.1%	4.4%	1.1%
70歳代	187	5.3%	32.1%	25.1%	30.5%	3.2%	3.7%
80歳以上	104	10.6%	42.3%	22.1%	14.4%	4.8%	5.8%
職業別							
会社員	423	3.5%	28.4%	32.9%	30.7%	4.0%	0.5%
自営業	81	6.2%	25.9%	22.2%	38.3%	7.4%	0.0%
農林漁業	11	9.1%	54.5%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%
公務員	72	5.6%	16.7%	34.7%	36.1%	6.9%	0.0%
学生	27	3.7%	18.5%	44.4%	29.6%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	144	5.6%	29.2%	31.9%	24.3%	5.6%	3.5%
無職	218	6.0%	32.1%	28.9%	25.7%	4.6%	2.8%
その他	28	0.0%	42.9%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%
地区別							
中央区	251	3.2%	25.9%	31.1%	31.9%	6.4%	1.6%
東区	264	4.5%	25.0%	34.5%	28.4%	6.1%	1.5%
西区	109	6.4%	30.3%	31.2%	28.4%	1.8%	1.8%
南区	190	6.3%	31.6%	27.9%	27.4%	4.7%	2.1%
北区	187	3.7%	33.2%	28.9%	31.0%	2.7%	0.5%

問 1 1. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後参加してみたい」が45.0%と最も高く、次いで「できる限り参加している」が27.0%、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が23.1%となっている。

「積極的に参加している」、「できる限り参加している」を合わせた割合は30.0%で、前回と比較すると2.5ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は70歳代が40.7%と最も高く、次いで、80歳以上（40.3%）、60歳代（32.4%）となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が72.7%と最も高く、次いで、主婦・主夫（41.7%）、無職（35.8%）となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は北区が41.2%と最も高く、次いで、南区（36.8%）、西区（28.5%）となっている。

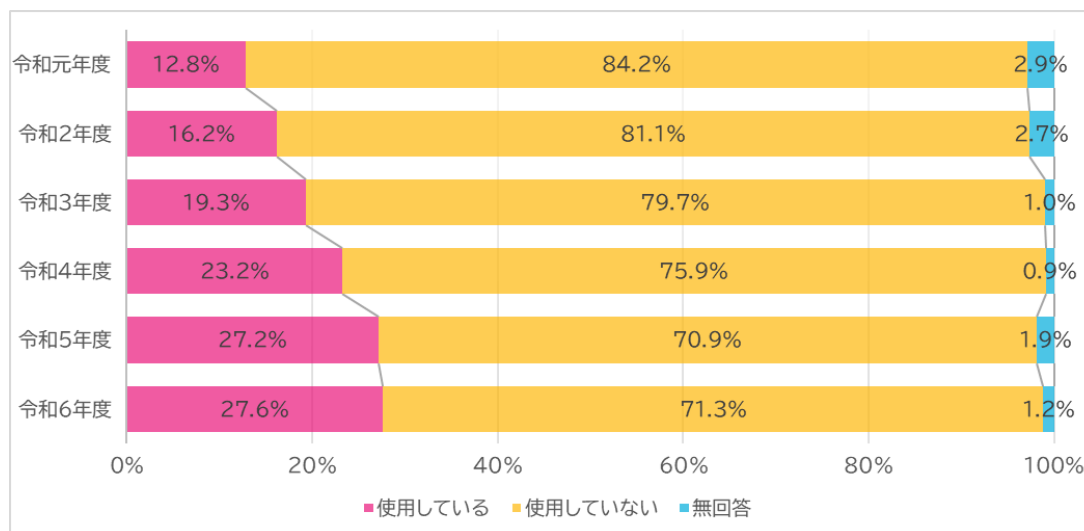
【属性別回答】

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	後参加してみたいが、今	後参加したことはないし、今	無回答
全体	1,040	3.0%	27.0%	45.0%	23.1%	1.9%
年齢別						
10歳代	12	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
20歳代	71	1.4%	8.5%	53.5%	36.6%	0.0%
30歳代	110	0.9%	18.2%	52.7%	28.2%	0.0%
40歳代	167	1.8%	22.8%	50.3%	25.1%	0.0%
50歳代	176	1.1%	30.1%	51.7%	15.9%	1.1%
60歳代	182	3.8%	28.6%	47.3%	19.2%	1.1%
70歳代	187	5.9%	34.8%	29.9%	24.6%	4.8%
80歳以上	104	3.8%	36.5%	28.8%	25.0%	5.8%
職業別						
会社員	423	1.4%	22.2%	51.8%	23.9%	0.7%
自営業	81	6.2%	23.5%	43.2%	25.9%	1.2%
農林漁業	11	18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%
公務員	72	1.4%	26.4%	45.8%	26.4%	0.0%
学生	27	0.0%	14.8%	74.1%	11.1%	0.0%
主婦・主夫	144	3.5%	38.2%	34.7%	20.1%	3.5%
無職	218	4.6%	31.2%	35.3%	25.2%	3.7%
その他	28	0.0%	32.1%	53.6%	14.3%	0.0%
地区別						
中央区	251	2.0%	19.9%	53.4%	22.7%	2.0%
東区	264	1.9%	24.2%	46.6%	24.6%	2.7%
西区	109	2.8%	25.7%	41.3%	29.4%	0.9%
南区	190	4.2%	32.6%	40.0%	21.1%	2.1%
北区	187	4.3%	36.9%	37.4%	20.3%	1.1%

■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問 1 2. スマートフォン・タブレット向けの紙のごみカレンダーをもっと便利にした「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1 つだけ)

「使用している」が 27.6%、「使用していない」が 71.3%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「使用している」は 30 歳代が 47.3%と最も高く、次いで 40 歳代 (34.7%)、20 歳代 (32.4%) となっている。

職業別：「使用している」は会社員が 35.0%と最も高く、次いで公務員 (34.7%)、自営業 (34.6%) となっている。

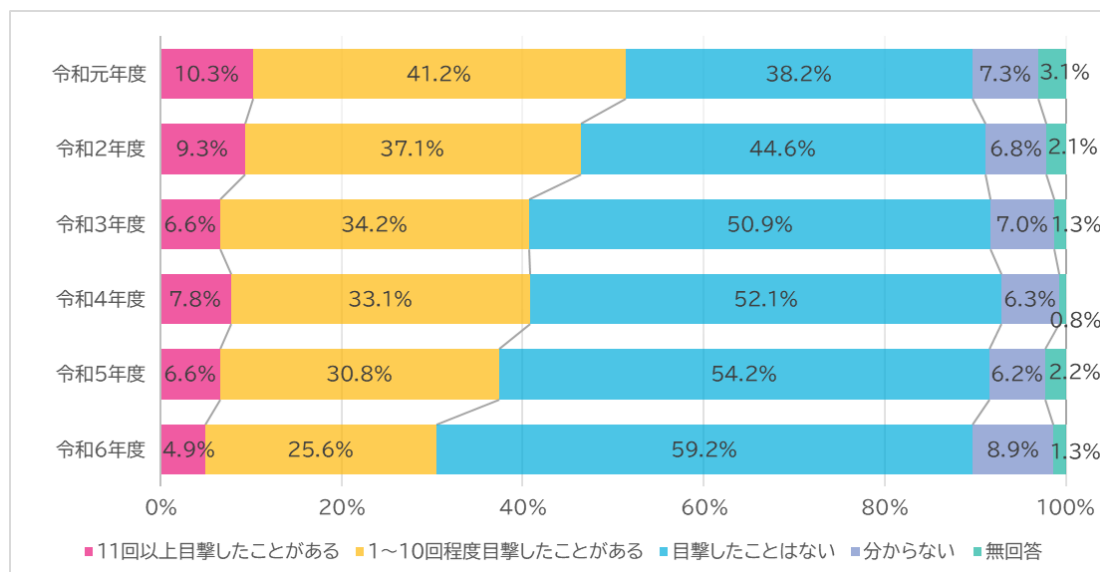
地区別：「使用している」は中央区が 29.5%と最も高く、次いで東区 (28.4%)、南区 (27.4%) となっている。

【属性別回答】

	合計	使用している	使用していない	無回答
全体	1,040	27.6%	71.3%	1.2%
年齢別				
10歳代	12	8.3%	91.7%	0.0%
20歳代	71	32.4%	67.6%	0.0%
30歳代	110	47.3%	52.7%	0.0%
40歳代	167	34.7%	65.3%	0.0%
50歳代	176	29.0%	71.0%	0.0%
60歳代	182	21.4%	77.5%	1.1%
70歳代	187	16.6%	80.7%	2.7%
80歳以上	104	24.0%	72.1%	3.8%
職業別				
会社員	423	35.0%	64.5%	0.5%
自営業	81	34.6%	65.4%	0.0%
農林漁業	11	18.2%	81.8%	0.0%
公務員	72	34.7%	65.3%	0.0%
学生	27	14.8%	85.2%	0.0%
主婦・主夫	144	16.0%	81.9%	2.1%
無職	218	21.1%	76.6%	2.3%
その他	28	7.1%	92.9%	0.0%
地区別				
中央区	251	29.5%	69.3%	1.2%
東区	264	28.4%	70.5%	1.1%
西区	109	24.8%	74.3%	0.9%
南区	190	27.4%	70.5%	2.1%
北区	187	26.7%	73.3%	0.0%

問 13. この1年間でゴミステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1つだけ)

「目撃したことはない」が59.2%で最も高く、次いで「1～10回程度目撃したことがある」が25.6%、「11回以上目撃したことがある」が4.9%となっている。

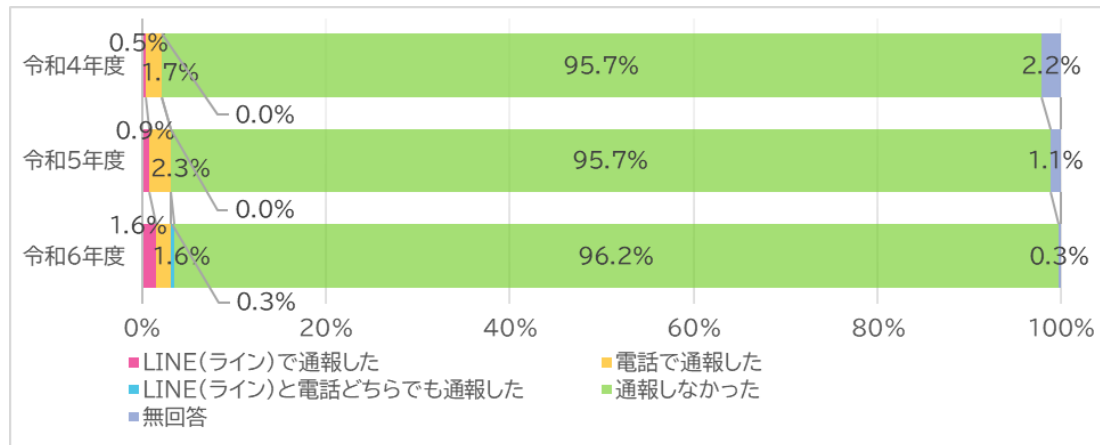


【属性別回答】

	合 計	る11 回以 上目 撃し たこ とが あ	が1 ゝ10 回程 度目 撃し たこ と	目 撃し たこ とは ない	分 から ない	無 回 答
全体	1,040	4.9%	25.6%	59.2%	8.9%	1.3%
年齢別						
10歳代	12	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
20歳代	71	2.8%	4.2%	81.7%	11.3%	0.0%
30歳代	110	4.5%	23.6%	62.7%	9.1%	0.0%
40歳代	167	7.2%	28.7%	55.1%	9.0%	0.0%
50歳代	176	8.0%	28.4%	56.3%	7.4%	0.0%
60歳代	182	3.3%	30.8%	58.2%	6.6%	1.1%
70歳代	187	3.7%	26.2%	58.3%	8.0%	3.7%
80歳以上	104	3.8%	25.0%	53.8%	13.5%	3.8%
職業別						
会社員	423	5.2%	25.1%	61.2%	7.8%	0.7%
自営業	81	7.4%	30.9%	48.1%	13.6%	0.0%
農林漁業	11	0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%
公務員	72	5.6%	29.2%	55.6%	9.7%	0.0%
学生	27	0.0%	11.1%	70.4%	18.5%	0.0%
主婦・主夫	144	4.9%	27.1%	58.3%	7.6%	2.1%
無職	218	4.1%	25.7%	59.2%	8.3%	2.8%
その他	28	7.1%	25.0%	64.3%	3.6%	0.0%
地区別						
中央区	251	4.0%	28.3%	52.6%	13.9%	1.2%
東区	264	5.3%	25.4%	59.1%	9.1%	1.1%
西区	109	7.3%	25.7%	62.4%	2.8%	1.8%
南区	190	6.3%	25.3%	57.4%	8.4%	2.6%
北区	187	3.2%	24.1%	67.9%	4.8%	0.0%

問13-1. 問13で1、2を選択された方にお尋ねします。目撃情報をLINEや電話で市に通報しましたか。(1つだけ)

問13. で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と回答した317人については、「通報しなかった」が96.2%と最も高く、次いで「LINE(ライン)で通報した」と「電話で通報した」が1.6%、「LINE(ライン)と電話どちらも通報した」が0.3%、「無回答」が0.3%となっている。

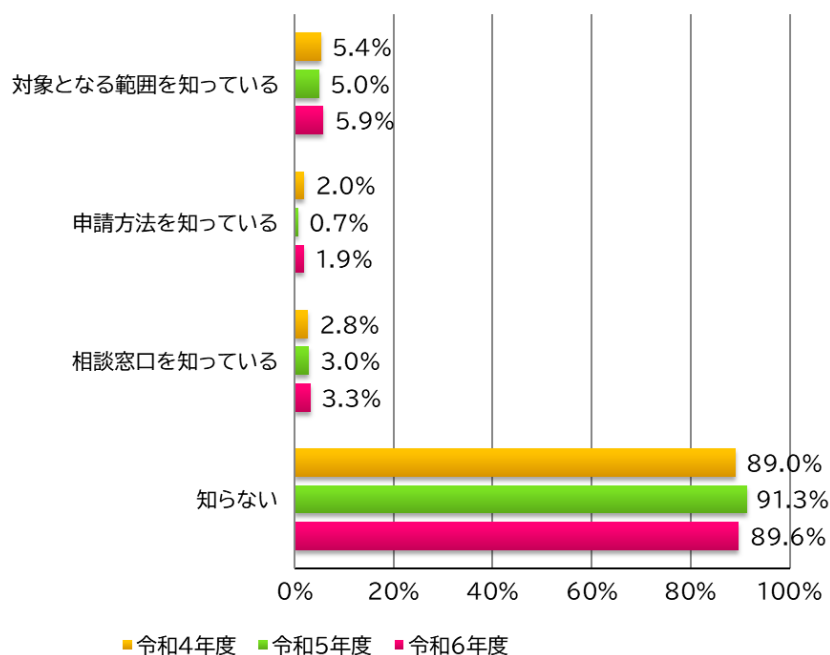


【属性別回答】

	合計	LINE （ライン） で 通報した	電話 で 通報した	LINE （ライン） と 電話 どちら でも 通報 した	通報 し な か つ た	無 回 答
全体	317	1.6%	1.6%	0.3%	96.2%	0.3%
年齢別						
10歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20歳代	5	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代	31	6.5%	0.0%	0.0%	93.5%	0.0%
40歳代	60	1.7%	1.7%	1.7%	95.0%	0.0%
50歳代	64	1.6%	1.6%	0.0%	96.9%	0.0%
60歳代	62	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
70歳代	56	1.8%	1.8%	0.0%	94.6%	1.8%
80歳以上	30	0.0%	3.3%	0.0%	96.7%	0.0%
職業別						
会社員	128	1.6%	0.8%	0.0%	97.7%	0.0%
自営業	31	6.5%	3.2%	0.0%	90.3%	0.0%
農林漁業	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
公務員	25	0.0%	4.0%	4.0%	92.0%	0.0%
学生	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
主婦・主夫	46	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
無職	65	0.0%	1.5%	0.0%	96.9%	1.5%
その他	9	11.1%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%
地区別						
中央区	81	1.2%	1.2%	0.0%	96.3%	1.2%
東区	81	0.0%	1.2%	1.2%	97.5%	0.0%
西区	36	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
南区	60	1.7%	3.3%	0.0%	95.0%	0.0%
北区	51	5.9%	0.0%	0.0%	94.1%	0.0%

問１４．同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

「知らない」が89.6%と最も高く、次いで「対象となる範囲を知っている」が5.9%、「相談窓口を知っている」が3.3%となっている。



【属性別回答】

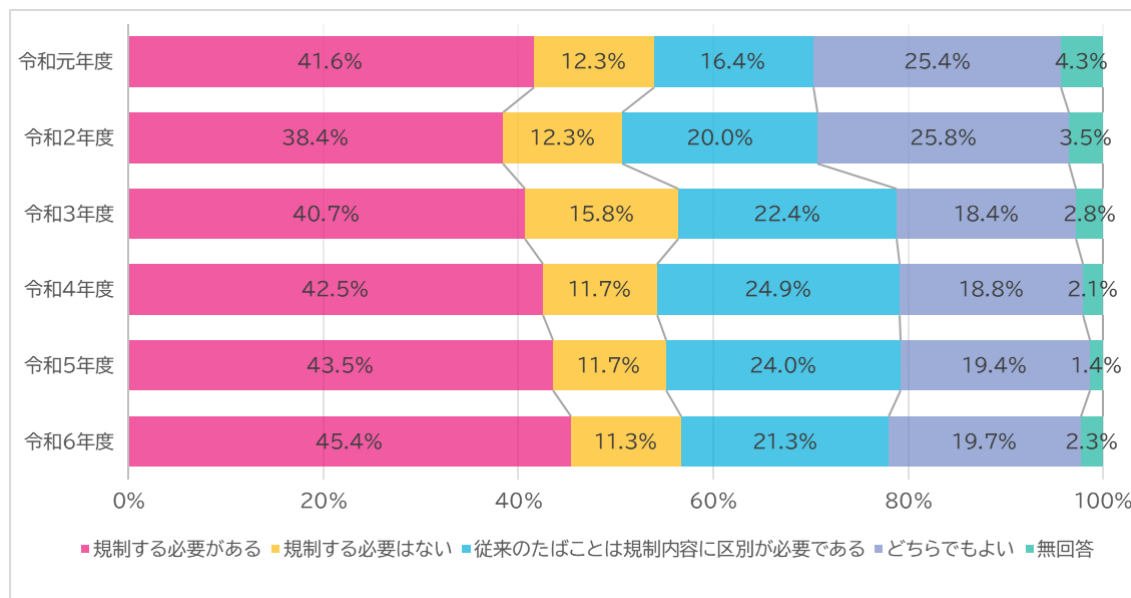
	合 計	対 象 と な る 範 囲 を 知 っ て い る	申 請 方 法 を 知 っ て い る	相 談 窓 口 を 知 っ て い る	知 ら ない
全体	1,040	5.9%	1.9%	3.3%	89.6%
年齢別					
10歳代	12	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20歳代	71	4.2%	1.4%	1.4%	94.4%
30歳代	110	6.4%	0.9%	3.6%	91.8%
40歳代	167	4.2%	1.8%	3.6%	92.2%
50歳代	176	5.7%	2.8%	2.8%	92.0%
60歳代	182	4.4%	0.5%	3.8%	91.2%
70歳代	187	5.9%	2.1%	2.1%	88.2%
80歳以上	104	11.5%	1.9%	4.8%	76.9%
職業別					
会社員	423	4.0%	2.1%	3.8%	92.0%
自営業	81	2.5%	0.0%	1.2%	96.3%
農林漁業	11	9.1%	0.0%	0.0%	90.9%
公務員	72	8.3%	2.8%	8.3%	87.5%
学生	27	7.4%	0.0%	0.0%	96.3%
主婦・主夫	144	10.4%	2.1%	3.5%	84.0%
無職	218	6.4%	1.4%	1.8%	87.2%
その他	28	3.6%	0.0%	0.0%	92.9%
地区別					
中央区	251	5.2%	0.4%	2.8%	88.8%
東区	264	5.7%	1.9%	3.4%	91.3%
西区	109	10.1%	1.8%	3.7%	87.2%
南区	190	4.7%	2.1%	2.1%	91.1%
北区	187	5.3%	2.7%	3.7%	89.8%

■「受動喫煙防止」について

問15. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が45.4%と最も高く、次いで「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」が21.3%、「どちらでもよい」が19.7%となっている。

前回調査と比較すると、「規制する必要がある」は1.9ポイント増加、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は2.7ポイント減少、「規制する必要はない」は0.4ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「規制する必要がある」は10歳代が66.7%と最も高く、「規制する必要はない」は40歳代が13.8%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は70歳代が24.6%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は学生が70.4%と最も高く、「規制する必要はない」は自営業が21.0%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は会社員が24.8%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」は中央区が49.8%と最も高く、「規制する必要はない」は北区が15.0%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は北区が23.0%となっている。

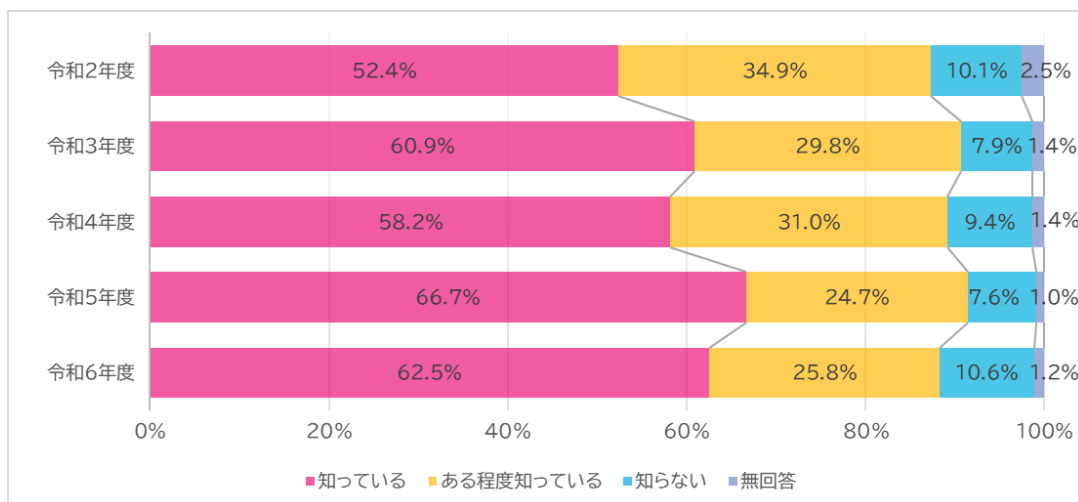
【属性別回答】

	合計	規制する必要がある	規制する必要はない	従来の区別が必要である に 従 来 の 区 別 が 必 要 で あ る 規 制 内 容	どちらでもよい	無回答
全体	1,040	45.4%	11.3%	21.3%	19.7%	2.3%
年齢別						
10歳代	12	66.7%	0.0%	8.3%	25.0%	0.0%
20歳代	71	49.3%	11.3%	21.1%	18.3%	0.0%
30歳代	110	49.1%	9.1%	22.7%	19.1%	0.0%
40歳代	167	44.9%	13.8%	19.8%	21.6%	0.0%
50歳代	176	49.4%	12.5%	23.3%	14.2%	0.6%
60歳代	182	40.7%	12.1%	22.0%	23.6%	1.6%
70歳代	187	41.2%	11.8%	24.6%	17.1%	5.3%
80歳以上	104	47.1%	4.8%	12.5%	26.9%	8.7%
職業別						
会社員	423	47.0%	9.2%	24.8%	18.0%	0.9%
自営業	81	42.0%	21.0%	16.0%	19.8%	1.2%
農林漁業	11	45.5%	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%
公務員	72	50.0%	19.4%	18.1%	12.5%	0.0%
学生	27	70.4%	3.7%	11.1%	14.8%	0.0%
主婦・主夫	144	45.1%	7.6%	20.1%	23.6%	3.5%
無職	218	40.4%	12.4%	21.1%	21.1%	5.0%
その他	28	42.9%	10.7%	10.7%	35.7%	0.0%
地区別						
中央区	251	49.8%	8.4%	20.7%	19.5%	1.6%
東区	264	44.7%	11.0%	22.3%	20.1%	1.9%
西区	109	42.2%	11.0%	20.2%	21.1%	5.5%
南区	190	48.9%	11.6%	20.0%	16.3%	3.2%
北区	187	38.5%	15.0%	23.0%	22.5%	1.1%

■「プラスチック問題」について

問 16. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

「知っている」が62.5%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が25.8%、「知らない」が10.6%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は60歳代が93.9%と最も高く、次いで10歳代（91.6%）、70歳代（90.9%）となっている。

「知らない」は20歳代が22.5%と最も高く、次いで30歳代（16.4%）、40歳代（12.0%）となっている。

職業別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は自営業が97.6%と最も高く、次いでその他（92.9%）となっている。

「知らない」は会社員が13.0%と最も高く、次いで主婦・主夫（10.4%）、公務員（9.7%）となっている。

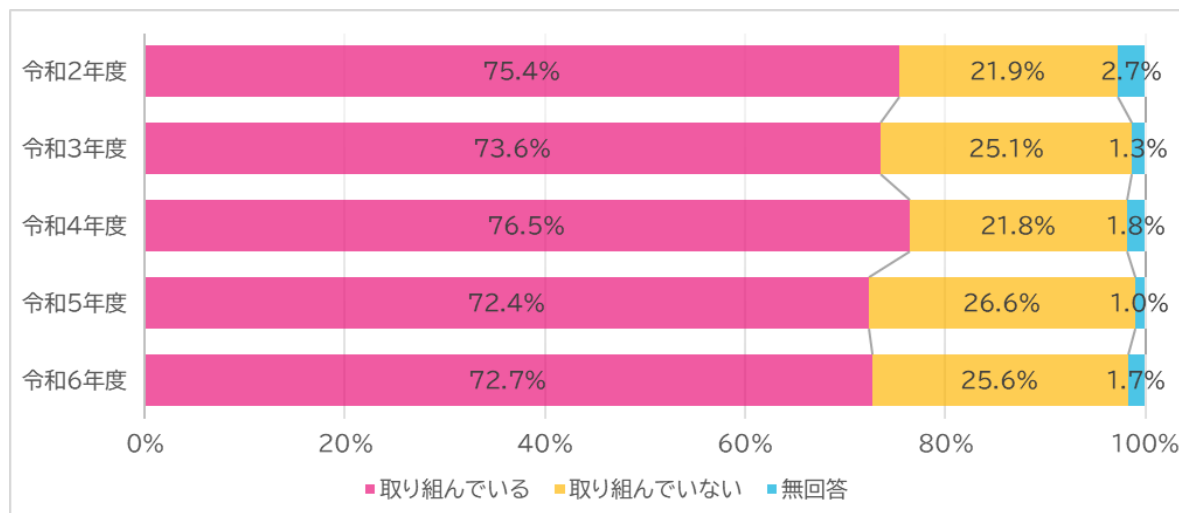
【属性別回答】

	合計	知っている	ある程度知っている	知らない	無回答
全体	1,040	62.5%	25.8%	10.6%	1.2%
年齢別					
10歳代	12	83.3%	8.3%	8.3%	0.0%
20歳代	71	46.5%	31.0%	22.5%	0.0%
30歳代	110	54.5%	29.1%	16.4%	0.0%
40歳代	167	61.1%	26.9%	12.0%	0.0%
50歳代	176	63.1%	27.3%	9.1%	0.6%
60歳代	182	73.6%	20.3%	4.9%	1.1%
70歳代	187	67.9%	23.0%	7.0%	2.1%
80歳以上	104	53.8%	32.7%	10.6%	2.9%
職業別					
会社員	423	57.4%	29.1%	13.0%	0.5%
自営業	81	77.8%	19.8%	2.5%	0.0%
農林漁業	11	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
公務員	72	69.4%	20.8%	9.7%	0.0%
学生	27	77.8%	14.8%	7.4%	0.0%
主婦・主夫	144	62.5%	25.0%	10.4%	2.1%
無職	218	63.8%	25.2%	8.7%	2.3%
その他	28	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%
地区別					
中央区	251	63.7%	24.3%	10.8%	1.2%
東区	264	63.6%	25.4%	10.6%	0.4%
西区	109	60.6%	27.5%	10.1%	1.8%
南区	190	67.4%	22.6%	8.4%	1.6%
北区	187	57.2%	32.1%	10.2%	0.5%

問17. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

「取り組んでいる」が72.7%、「取り組んでいない」が25.6%となっている。

前回調査と比較すると、「取り組んでいる」は0.3ポイント増加し、「取り組んでいない」は1.0ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取り組んでいる」は70歳代が81.3%と最も高く、次いで10歳代（75.0%）、60歳代（74.7%）となっている。

「取り組んでいない」は20歳代が38.0%と最も高く、次いで30歳代（33.6%）、40歳代（32.3%）となっている。

職業別：「取り組んでいる」は無職が77.5%と最も高く、次いでその他（75.0%）、主婦・主夫（74.3%）となっている。

「取り組んでいない」は学生が40.7%と最も高く、次いで公務員（30.6%）、会社員（28.4%）となっている。

地区別：「取り組んでいる」は南区が75.8%と最も高く、次いで東区（73.9%）、中央区（72.5%）となっている。

「取り組んでいない」は北区が29.4%と最も高く、次いで東区（25.8%）、中央区（25.5%）となっている。

【属性別回答】

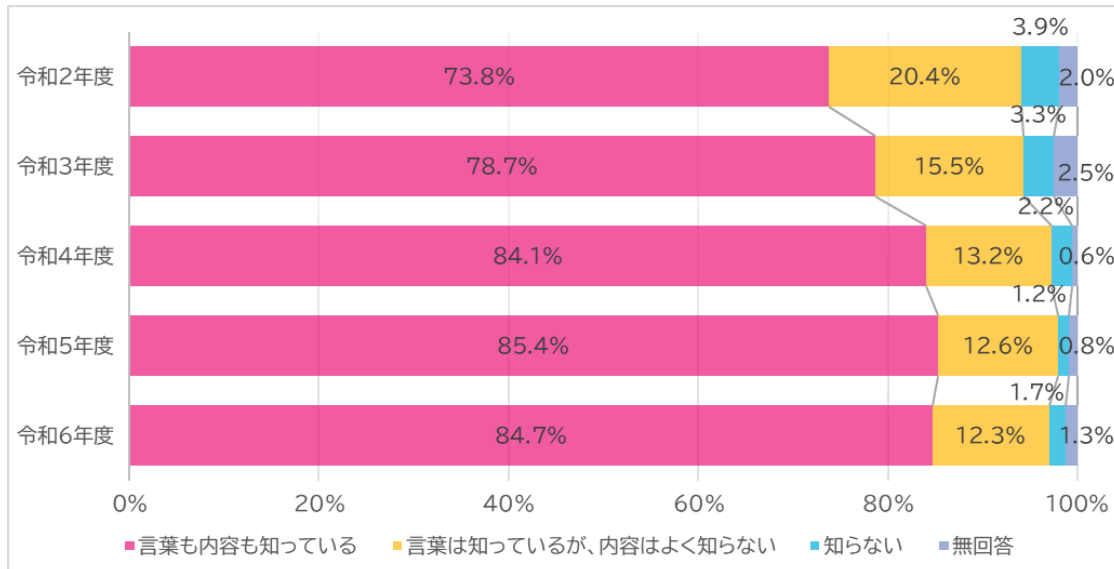
	合計	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体	1,040	72.7%	25.6%	1.7%
年齢別				
10歳代	12	75.0%	25.0%	0.0%
20歳代	71	62.0%	38.0%	0.0%
30歳代	110	66.4%	33.6%	0.0%
40歳代	167	67.7%	32.3%	0.0%
50歳代	176	73.3%	25.6%	1.1%
60歳代	182	74.7%	24.2%	1.1%
70歳代	187	81.3%	15.5%	3.2%
80歳以上	104	74.0%	19.2%	6.7%
職業別				
会社員	423	71.2%	28.4%	0.5%
自営業	81	71.6%	27.2%	1.2%
農林漁業	11	72.7%	27.3%	0.0%
公務員	72	69.4%	30.6%	0.0%
学生	27	59.3%	40.7%	0.0%
主婦・主夫	144	74.3%	22.9%	2.8%
無職	218	77.5%	18.8%	3.7%
その他	28	75.0%	25.0%	0.0%
地区別				
中央区	251	72.5%	25.5%	2.0%
東区	264	73.9%	25.8%	0.4%
西区	109	70.6%	24.8%	4.6%
南区	190	75.8%	22.6%	1.6%
北区	187	69.5%	29.4%	1.1%

■「食品ロス」について

問18.「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉も内容も知っている」が84.7%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が12.3%、「知らない」が1.7%となっている。

前回調査と比較すると、「言葉も内容も知っている」は0.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も内容も知っている」は30歳代が92.7%と最も高く、次いで60歳代（91.8%）、10歳代（91.7%）となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は80歳以上が27.9%と最も高く、次いで70歳代（15.0%）、20歳代（14.1%）となっている。

「知らない」は20歳代が4.2%と最も高く、80歳以上（2.9%）、70歳代（2.7%）となっている。

職業別：「言葉も内容も知っている」は学生が96.3%と最も高く、次いで自営業（93.8%）、公務員（91.7%）となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は農林漁業が45.5%と最も高く、次いで無職（19.3%）、会社員（10.6%）となっている。

「知らない」は公務員が5.6%と最も高く、その他（3.6%）、無職（2.8%）となっている。

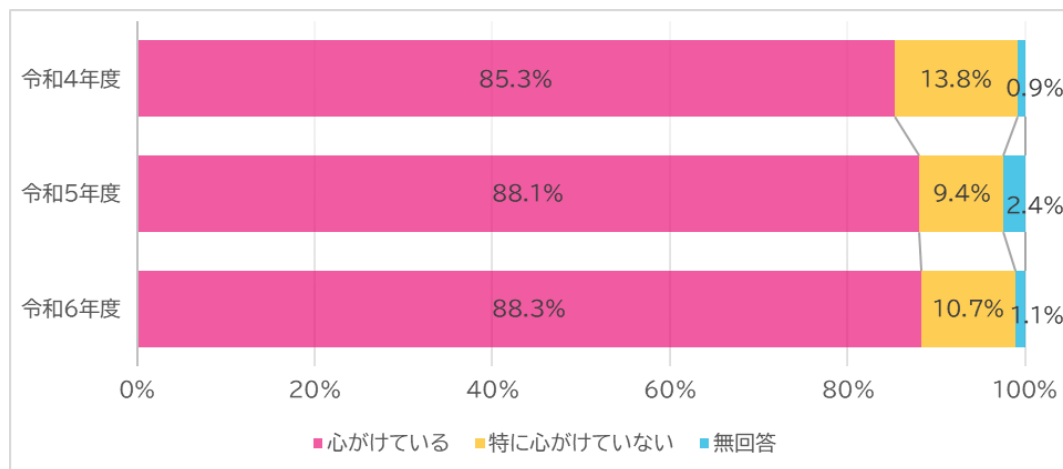
【属性別回答】

	合計	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	1,040	84.7%	12.3%	1.7%	1.3%
年齢別					
10歳代	12	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
20歳代	71	81.7%	14.1%	4.2%	0.0%
30歳代	110	92.7%	6.4%	0.9%	0.0%
40歳代	167	89.8%	9.6%	0.6%	0.0%
50歳代	176	87.5%	10.2%	1.7%	0.6%
60歳代	182	91.8%	5.5%	1.1%	1.6%
70歳代	187	79.7%	15.0%	2.7%	2.7%
80歳以上	104	66.3%	27.9%	2.9%	2.9%
職業別					
会社員	423	88.2%	10.6%	0.7%	0.5%
自営業	81	93.8%	4.9%	1.2%	0.0%
農林漁業	11	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
公務員	72	91.7%	2.8%	5.6%	0.0%
学生	27	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	144	84.7%	10.4%	2.1%	2.8%
無職	218	75.2%	19.3%	2.8%	2.8%
その他	28	89.3%	7.1%	3.6%	0.0%
地区別					
中央区	251	85.3%	11.6%	1.2%	2.0%
東区	264	86.0%	12.1%	1.5%	0.4%
西区	109	83.5%	13.8%	0.9%	1.8%
南区	190	86.3%	9.5%	2.6%	1.6%
北区	187	85.6%	12.3%	1.6%	0.5%

問 19. 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。

(1つだけ)

「心がけている」が88.3%、「特に心がけていない」が10.7%となり、「心がけている」が「特に心がけていない」を大きく上回る結果となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「心がけている」は30歳代が91.8%と最も高く、次いで40歳代（91.0%）、50歳代（88.6%）となっている。

「特に心がけていない」は10歳代が16.7%と最も高く、次いで20歳代（14.1%）、70歳（11.2%）となっている。

職業別：「心がけている」は自営業が93.8%と最も高く、次いでその他（92.9%）、主婦・主夫（92.4%）となっている。

「特に心がけていない」は農林漁業が45.5%と最も高く、次いで公務員（12.5%）、無職（12.4%）となっている。

地区別：「心がけている」は南区が90.0%と最も高く、次いで北区（88.8%）、中央区（88.4%）となっている。

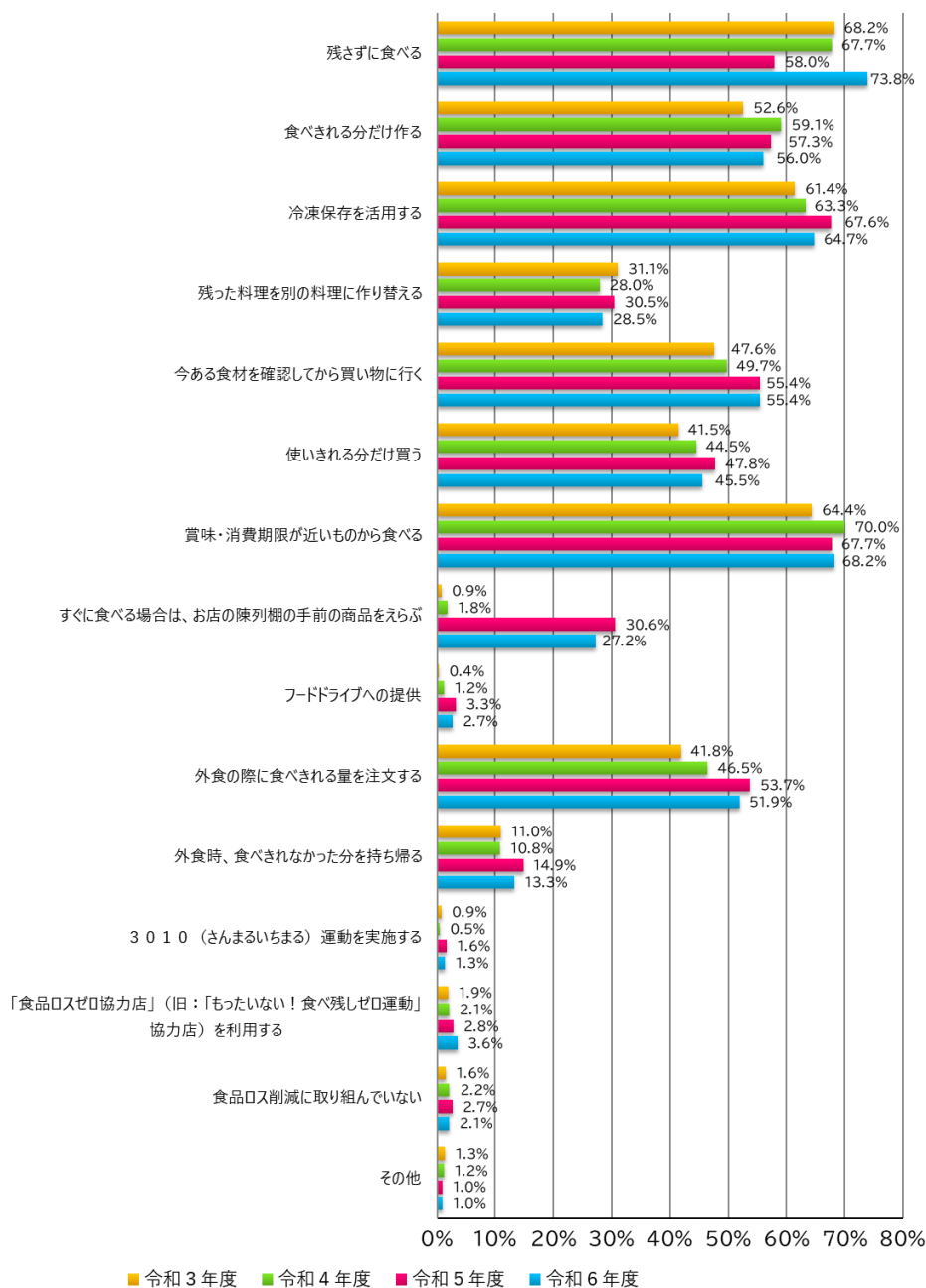
「特に心がけていない」は東区が11.4%と最も高く、次いで西区（11.0%）、北区（10.7%）となっている。

【属性別回答】

	合計	心がけている	特に心がけていない	無回答
全体	1,040	88.3%	10.7%	1.1%
年齢別				
10歳代	12	83.3%	16.7%	0.0%
20歳代	71	85.9%	14.1%	0.0%
30歳代	110	91.8%	8.2%	0.0%
40歳代	167	91.0%	9.0%	0.0%
50歳代	176	88.6%	10.8%	0.6%
60歳代	182	88.5%	10.4%	1.1%
70歳代	187	86.6%	11.2%	2.1%
80歳以上	104	86.5%	10.6%	2.9%
職業別				
会社員	423	88.4%	11.1%	0.5%
自営業	81	93.8%	6.2%	0.0%
農林漁業	11	54.5%	45.5%	0.0%
公務員	72	87.5%	12.5%	0.0%
学生	27	88.9%	11.1%	0.0%
主婦・主夫	144	92.4%	5.6%	2.1%
無職	218	85.3%	12.4%	2.3%
その他	28	92.9%	7.1%	0.0%
地区別				
中央区	251	88.4%	10.4%	1.2%
東区	264	88.3%	11.4%	0.4%
西区	109	87.2%	11.0%	1.8%
南区	190	90.0%	8.4%	1.6%
北区	187	88.8%	10.7%	0.5%

問20. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

「残さずに食べる」が73.8%と最も高く、次いで「賞味・消費期限が近いものから食べる」が68.2%、「冷凍保存を活用する」が64.7%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ドギーバッグ（持ち帰り容器）の使用。
- ・消費期限の近い割引商品を買うようにしている。
- ・野菜の皮も料理に活用する。
- ・発酵食を取り入れている。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「残さずに食べる」と「使いきれ的分だけ買う」、「フードドライブへの提供」は50歳代、「食べきれ的分だけ作る」と「外食の際に食べきれる量を注文する」、「3010（さんまるいちまる）運動を実施する」は60歳代、「冷凍保存を活用する」は60歳代と30歳代、「残った料理を別の料理に作り替える」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「「食品ロスゼロ協力店」を利用する」は80歳以上、「賞味・消費期限が近いものから食べる」、「すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は10歳代が最も高くなっている。

職業別：「残さずに食べる」と「「食品ロスゼロ協力店」を利用する」は農林漁業が最も高く、「食べきれ的分だけ作る」、「外食の際に食べきれる量を注文する」はその他、「冷凍保存を活用する」、「使いきれ的分だけ買う」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は自営業、「残った料理を別の料理に作り替える」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」は主婦・主夫、「賞味・消費期限が近いものから食べる」、「すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ」は学生、「フードドライブへの提供」、「3010（さんまるいちまる）運動を実施する」は公務員となっている。

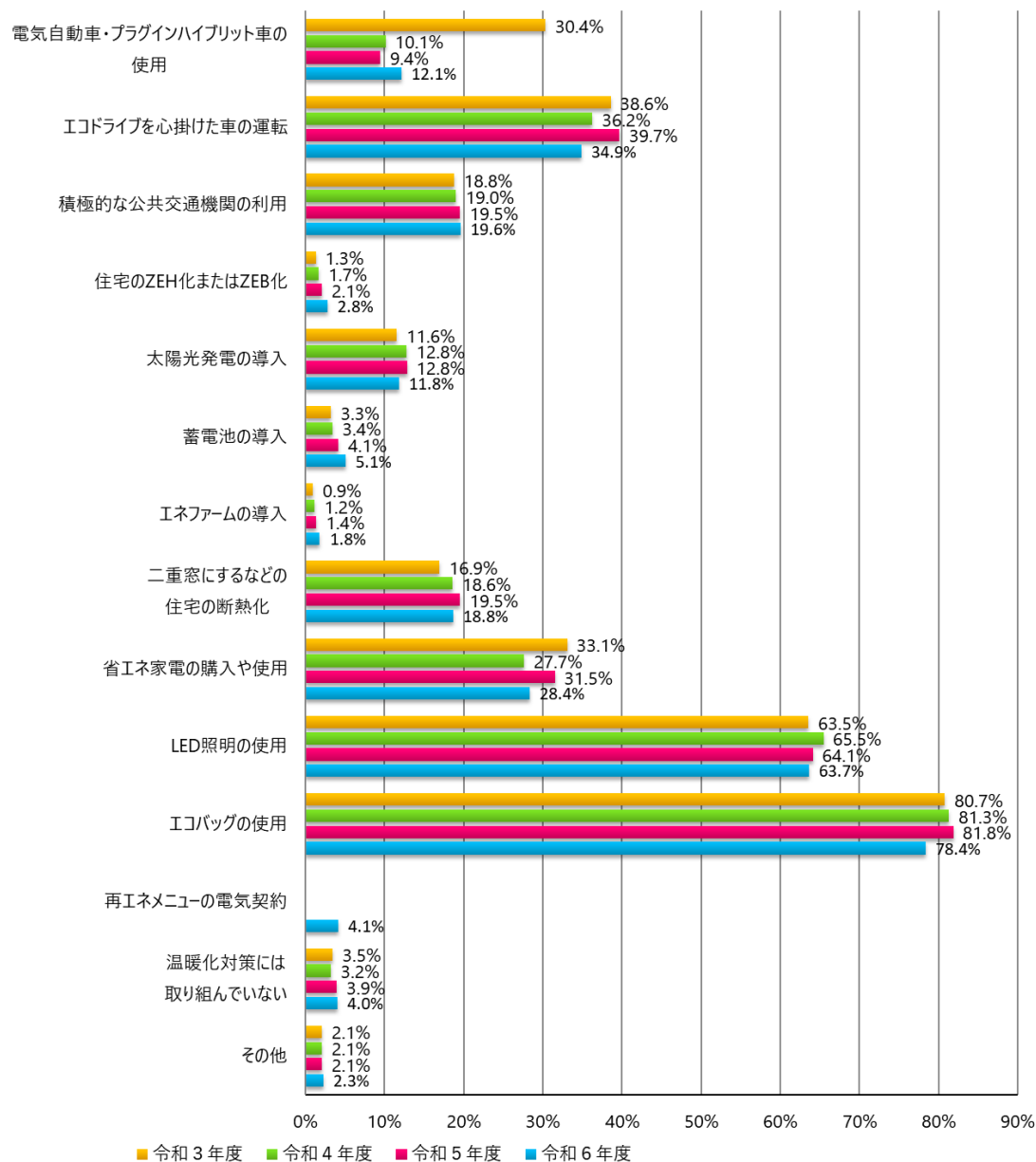
【属性別回答】

	合計	残さずに食べる	食べきれ分だけ作る	冷凍保存を活用する	残った料理を別の料理に作り替える	今ある食材を確認してから買い物に行く	使いきれ分だけ買う	賞味・消費期限が近いものから食べる	すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ	フードドライブへの提供	外食の際に食べきれる量を注文する	外食時、食べきれなかった分を持ち帰る	3010（さんまるいちまる）運動を実施する	「食品ロスゼロ協力店」（旧：運動「協力店」）を利用する	食品ロス削減に取り組んでいない	その他
全体	1,040	73.8%	56.0%	64.7%	28.5%	55.4%	45.5%	68.2%	27.2%	2.7%	51.9%	13.3%	1.3%	3.6%	2.1%	1.0%
年代別																
10歳代	12	66.7%	33.3%	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	91.7%	41.7%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
20歳代	71	78.9%	52.1%	57.7%	19.7%	50.7%	49.3%	60.6%	21.1%	1.4%	49.3%	12.7%	0.0%	2.8%	1.4%	0.0%
30歳代	110	77.3%	54.5%	70.9%	31.8%	54.5%	54.5%	70.0%	32.7%	3.6%	52.7%	9.1%	0.9%	2.7%	0.9%	0.0%
40歳代	167	74.3%	51.5%	64.7%	27.5%	49.7%	49.7%	65.3%	38.9%	3.6%	49.7%	10.8%	0.6%	1.2%	1.8%	1.2%
50歳代	176	81.3%	61.4%	63.1%	27.3%	55.1%	56.3%	67.0%	27.8%	5.1%	50.0%	13.6%	1.7%	4.0%	0.6%	2.3%
60歳代	182	67.6%	64.3%	70.9%	31.3%	57.1%	42.3%	70.3%	24.2%	2.7%	56.6%	13.7%	2.7%	2.7%	1.1%	1.1%
70歳代	187	70.6%	49.7%	59.4%	27.3%	59.4%	33.2%	66.8%	21.9%	0.5%	50.8%	13.4%	1.6%	5.3%	2.1%	0.0%
80歳以上	104	73.1%	58.7%	64.4%	32.7%	61.5%	38.5%	74.0%	23.1%	1.0%	51.0%	16.3%	1.0%	5.8%	7.7%	1.0%
職業別																
会社員	423	76.6%	58.6%	67.4%	29.6%	53.0%	49.9%	67.4%	31.2%	3.3%	53.0%	13.0%	0.7%	2.6%	1.4%	1.2%
自営業	81	75.3%	61.7%	70.4%	34.6%	58.0%	53.1%	69.1%	29.6%	4.9%	55.6%	18.5%	1.2%	3.7%	1.2%	0.0%
農林漁業	11	81.8%	45.5%	36.4%	27.3%	45.5%	27.3%	27.3%	18.2%	0.0%	36.4%	18.2%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%
公務員	72	77.8%	44.4%	55.6%	12.5%	36.1%	44.4%	56.9%	20.8%	5.6%	44.4%	6.9%	5.6%	2.8%	1.4%	0.0%
学生	27	74.1%	33.3%	48.1%	25.9%	44.4%	48.1%	81.5%	44.4%	0.0%	48.1%	11.1%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	144	70.1%	62.5%	70.1%	36.8%	72.2%	47.2%	75.7%	25.7%	0.7%	56.3%	15.3%	2.8%	6.3%	1.4%	0.0%
無職	218	69.7%	50.5%	59.2%	24.8%	56.0%	34.9%	69.3%	22.0%	1.8%	46.3%	11.9%	0.5%	3.7%	4.1%	1.8%
その他	28	78.6%	64.3%	67.9%	28.6%	53.6%	50.0%	71.4%	32.1%	0.0%	64.3%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
地区別																
中央区	251	70.1%	56.2%	65.7%	29.1%	56.6%	54.2%	70.5%	29.1%	4.0%	50.6%	12.7%	2.8%	1.2%	2.4%	1.2%
東区	264	73.9%	56.4%	68.2%	29.2%	53.8%	44.7%	67.0%	25.0%	3.4%	51.5%	15.9%	1.9%	3.8%	1.9%	0.8%
西区	109	75.2%	62.4%	55.0%	22.0%	55.0%	39.4%	60.6%	29.4%	0.0%	53.2%	12.8%	0.9%	7.3%	1.8%	0.9%
南区	190	78.9%	53.7%	61.6%	28.4%	54.7%	43.2%	64.2%	29.5%	3.2%	51.6%	12.6%	0.5%	3.2%	1.6%	1.1%
北区	187	74.3%	54.5%	66.8%	31.0%	57.8%	43.9%	75.9%	27.3%	1.1%	53.5%	10.2%	0.0%	4.3%	2.7%	0.5%

■「地球温暖化対策」について

問 2 1. 地球温暖化対策として実際に導入している（されている）、もしくは取り組んでいることはありますか。（いくつでも可）

「エコバッグの使用」が78.4%と最も高く、次いで「LED照明の使用」が63.7%、「エコドライブを心掛けた車の運転」が34.9%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・電気をこまめに消す。
- ・自転車で移動する。
- ・オール電化。
- ・マイはしやマイカップ、マイトレイなど持ち歩く。過度な包装を断る。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」、「省エネ家電の購入や使用」、「LED照明の使用」、「再エネメニューの電気契約」は60歳代が最も高く、「エコドライブを心がけた車の運転」は50歳代、「積極的な公共交通機関の利用」は70歳代、「住宅のZEH化またはZEB化」、「蓄電池」は30歳代、「太陽光発電」は40歳代、「エネファーム」は80歳以上、「エコバックの使用」は10歳代が最も高くなっている。

職業別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」、「積極的な公共交通機関の利用」、「省エネ家電の購入や使用」、「再エネメニューの電気契約」はその他が最も高く、「エコドライブを心がけた車の運転」、「太陽光発電」は公務員、「住宅のZEH化またはZEB化」、「蓄電池」、「エネファーム」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は自営業、「LED照明の使用」、「エコバックの使用」は主婦・主夫が最も高くなっている。

地区別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」、「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」、「LED照明の使用」は南区が最も高く、「エコドライブを心がけた車の運転」、「省エネ家電の購入や使用」、「エコバックの使用」は東区、「積極的な公共交通機関の利用」、「エネファーム」は中央区、「蓄電池」、「再エネメニューの電気契約」は北区、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は西区が最も高くなっている。

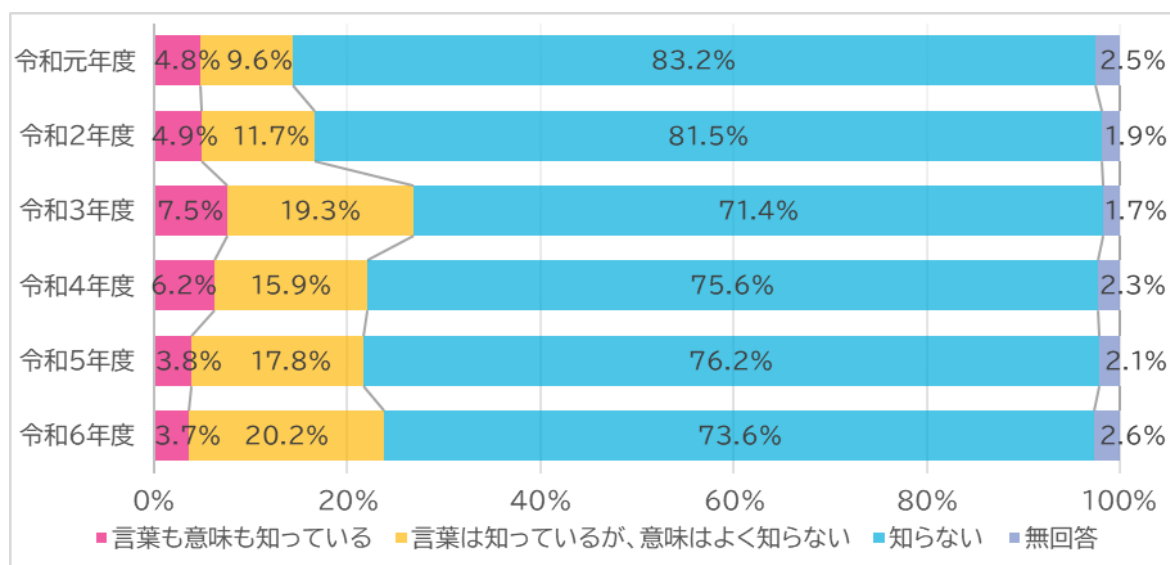
【属性別回答】

	合計	電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用	エコドライブを心がけた車の運転	積極的な公共交通機関の利用	住宅のZEH化またはZEB化	太陽光発電の導入	蓄電池の導入	エネファームの導入	二重窓にするなどの住宅の断熱化	省エネ家電の購入や使用	LED照明の使用	エコバックの使用	再エネメニューの電気契約	温暖化対策に取組んでいない	その他
全体	1,040	12.1%	34.9%	19.6%	2.8%	11.8%	5.1%	1.8%	18.8%	28.4%	63.7%	78.4%	4.1%	4.0%	2.3%
年齢別															
10歳代	12	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	58.3%	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%
20歳代	71	9.9%	31.0%	16.9%	2.8%	9.9%	5.6%	0.0%	9.9%	14.1%	50.7%	67.6%	2.8%	11.3%	2.8%
30歳代	110	8.2%	30.0%	9.1%	7.3%	13.6%	9.1%	1.8%	14.5%	22.7%	51.8%	73.6%	1.8%	5.5%	1.8%
40歳代	167	10.8%	35.3%	14.4%	5.4%	19.2%	7.2%	3.0%	20.4%	22.8%	65.9%	79.6%	1.8%	5.4%	1.2%
50歳代	176	14.2%	50.0%	15.9%	1.1%	8.0%	2.8%	0.0%	18.2%	29.0%	64.8%	81.3%	3.4%	2.3%	3.4%
60歳代	182	16.5%	40.7%	23.6%	2.7%	12.1%	5.5%	2.2%	26.9%	37.4%	69.8%	82.4%	8.2%	3.3%	1.6%
70歳代	187	14.4%	30.5%	26.7%	1.1%	10.2%	3.2%	2.1%	17.1%	31.0%	66.3%	78.6%	3.7%	2.7%	1.1%
80歳以上	104	7.7%	16.3%	26.0%	1.0%	11.5%	5.8%	3.8%	21.2%	30.8%	68.3%	74.0%	6.7%	3.8%	4.8%
職業別															
会社員	423	13.2%	38.5%	14.9%	3.3%	13.2%	5.9%	1.2%	16.1%	23.6%	58.2%	81.3%	3.8%	5.2%	1.7%
自営業	81	17.3%	40.7%	13.6%	8.6%	16.0%	9.9%	4.9%	32.1%	37.0%	74.1%	75.3%	3.7%	1.2%	1.2%
農林漁業	11	18.2%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	54.5%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%
公務員	72	13.9%	47.2%	19.4%	5.6%	18.1%	6.9%	2.8%	19.4%	27.8%	65.3%	69.4%	2.8%	5.6%	1.4%
学生	27	0.0%	22.2%	18.5%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	14.8%	3.7%	44.4%	74.1%	0.0%	7.4%	11.1%
主婦・主夫	144	11.8%	29.2%	24.3%	1.4%	10.4%	4.2%	1.4%	25.0%	42.4%	75.7%	85.4%	4.2%	1.4%	2.1%
無職	218	8.3%	27.5%	26.6%	0.9%	10.6%	3.7%	2.3%	18.8%	26.1%	65.6%	74.3%	4.1%	3.7%	3.2%
その他	28	21.4%	32.1%	28.6%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	10.7%	42.9%	71.4%	78.6%	14.3%	7.1%	3.6%
地区別															
中央区	251	12.4%	28.7%	29.1%	2.0%	7.2%	5.2%	3.2%	18.7%	27.5%	65.3%	77.7%	4.8%	4.4%	2.0%
東区	264	12.1%	42.0%	17.8%	3.8%	15.5%	5.3%	1.9%	17.4%	31.8%	62.9%	81.1%	4.2%	3.8%	2.3%
西区	109	14.7%	33.9%	22.9%	2.8%	3.7%	0.0%	0.0%	22.0%	31.2%	61.5%	75.2%	1.8%	3.7%	3.7%
南区	190	15.8%	36.3%	10.0%	4.2%	17.4%	5.3%	0.5%	20.5%	23.2%	65.8%	76.8%	3.2%	2.6%	2.6%
北区	187	7.5%	32.1%	17.1%	1.6%	13.4%	8.0%	2.7%	19.3%	26.7%	64.7%	79.1%	5.3%	6.4%	1.1%

問22.「デコ活」又は「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が73.6%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が20.2%、「言葉も意味も知っている」が3.7%となっている。

「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は23.9%となり、前回調査から2.3ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は80歳以上が28.9%と最も高く、次いで70歳代(27.8%)、50歳代(25.0%)となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合はその他が42.8%と最も高く、次いで農林漁業(36.4%)、主婦・主夫(28.5%)となっている。

【属性別回答】

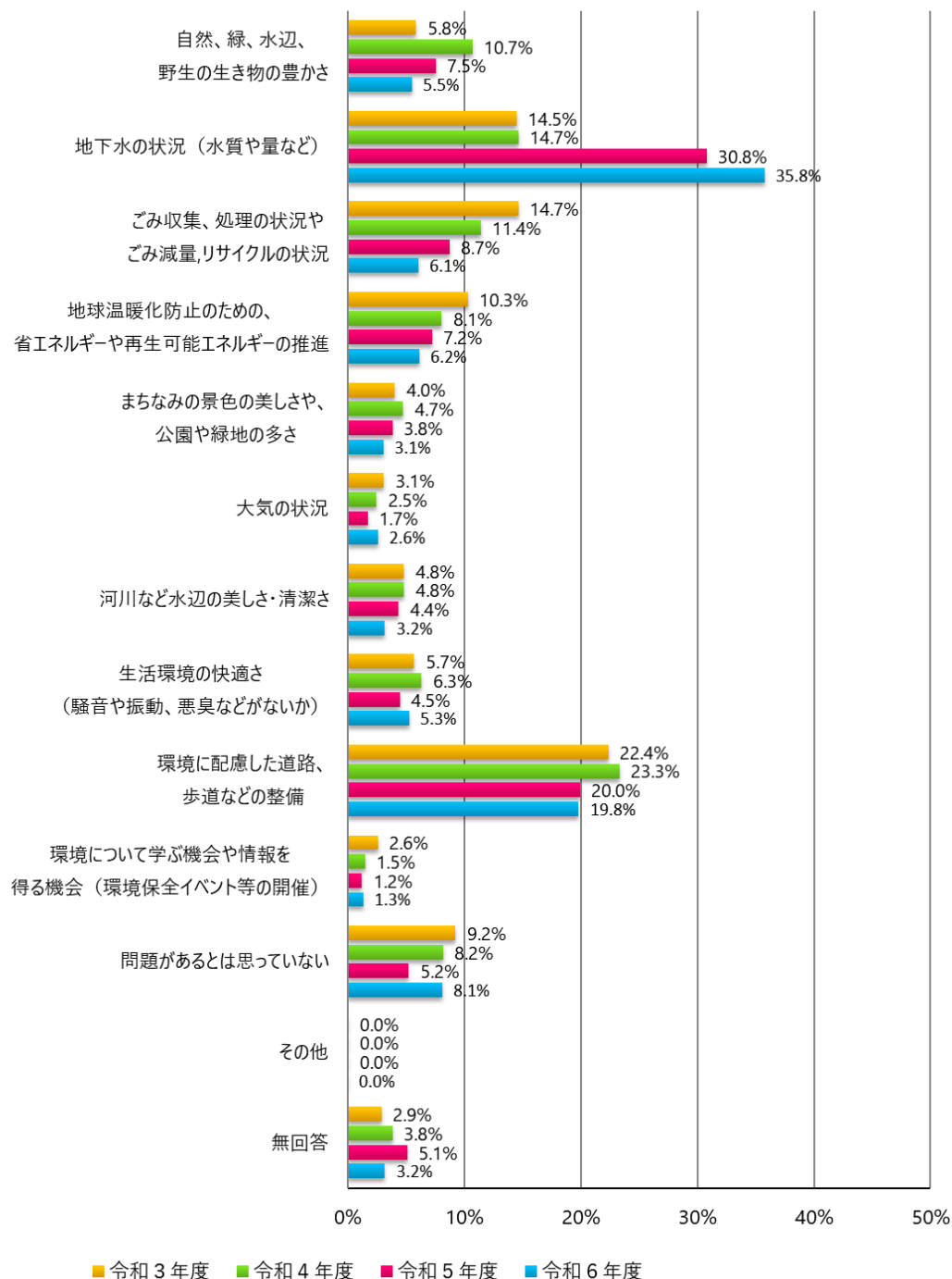
	合計	言葉も意味も知っている	言葉はよく知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,040	3.7%	20.2%	73.6%	2.6%
年齢別					
10歳代	12	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
20歳代	71	2.8%	16.9%	80.3%	0.0%
30歳代	110	2.7%	18.2%	79.1%	0.0%
40歳代	167	3.6%	16.2%	79.6%	0.6%
50歳代	176	4.0%	21.0%	74.4%	0.6%
60歳代	182	6.0%	18.1%	74.2%	1.6%
70歳代	187	2.7%	25.1%	67.9%	4.3%
80歳以上	104	2.9%	26.0%	61.5%	9.6%
職業別					
会社員	423	2.8%	19.1%	77.5%	0.5%
自営業	81	6.2%	13.6%	77.8%	2.5%
農林漁業	11	9.1%	27.3%	63.6%	0.0%
公務員	72	9.7%	16.7%	73.6%	0.0%
学生	27	0.0%	14.8%	85.2%	0.0%
主婦・主夫	144	1.4%	27.1%	68.1%	3.5%
無職	218	3.2%	19.7%	71.1%	6.0%
その他	28	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%
地区別					
中央区	251	3.6%	16.3%	76.5%	3.6%
東区	264	3.0%	23.9%	72.0%	1.1%
西区	109	3.7%	21.1%	71.6%	3.7%
南区	190	4.2%	18.4%	74.7%	2.6%
北区	187	4.3%	20.3%	74.3%	1.1%

■「熊本市内の環境問題」について

問23. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

「地下水の状況（水質や量）」が35.8%と最も高く、次いで「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が19.8%、「問題があるとは思っていない」が8.1%となっている。

「地下水の状況（水質や量）」は前回調査と比較すると5.0ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」、「まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ」は20歳代が12.7%、8.5%、7.0%、「地下水の状況」と「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は60歳代が41.8%、4.9%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」と「大気の状態」は80歳以上が9.6%、5.8%、「生活環境の快適さ」と「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は10歳代が25.0%、50.0%、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は30歳代が3.6%で最も高くなっている。

職業別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「大気の状態」、「河川などの水辺の美しさ・清潔さ」は農林漁業がそれぞれ9.1%、「地下水の状況」は自営業が46.9%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」と「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」はその他がそれぞれ10.7%、「まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ」と「生活環境の快適さ」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は学生が7.4%、11.1%、37.0%、3.7%で最も高くなっている。

地区別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」は中央区と南区が6.8%、「河川などの水辺の美しさ・清潔さ」は南区が5.8%、「地下水の状況」は北区が39.0%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」と「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は東区が8.0%、7.2%、25.0%、「まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ」と「大気の状態」、「生活環境の快適さ」は西区が6.4%、4.6%、6.4%、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は中央区が2.4%と最も高くなっている。

【属性別回答】

	合計	野生、自然、緑、水辺、生き物の豊かさ	地下水の状況（水質や量）	ごみ収集、処理の状況やリサイクルの状況	地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進	まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ	大気の状況	河川など水辺の美しさ・清潔さ	生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）	環境に配慮した道路、歩道などの整備	環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）	問題があるとは思っていない	無回答
全体	1,040	5.5%	35.8%	6.1%	6.2%	3.1%	2.6%	3.2%	5.3%	19.8%	1.3%	8.1%	3.2%
年代別													
10歳代	12	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	8.3%	0.0%
20歳代	71	12.7%	25.4%	8.5%	4.2%	7.0%	1.4%	0.0%	11.3%	18.3%	1.4%	9.9%	0.0%
30歳代	110	6.4%	30.0%	5.5%	7.3%	3.6%	3.6%	1.8%	4.5%	20.0%	3.6%	13.6%	0.0%
40歳代	167	4.2%	32.3%	6.6%	7.8%	4.8%	1.8%	3.0%	7.2%	23.4%	0.6%	8.4%	0.0%
50歳代	176	3.4%	39.8%	5.7%	4.0%	2.3%	2.8%	1.1%	6.8%	23.3%	0.6%	9.1%	1.1%
60歳代	182	3.3%	41.8%	4.9%	4.9%	2.7%	1.6%	4.9%	3.3%	22.5%	1.1%	8.2%	0.5%
70歳代	187	6.4%	39.0%	4.3%	7.0%	1.1%	2.7%	4.8%	3.2%	16.6%	2.1%	5.3%	7.5%
80歳以上	104	9.6%	34.6%	7.7%	9.6%	2.9%	5.8%	2.9%	1.9%	8.7%	1.0%	3.8%	11.5%
職業別													
会社員	423	4.3%	35.5%	6.1%	5.2%	3.5%	3.3%	2.6%	6.4%	21.5%	1.2%	8.5%	1.9%
自営業	81	8.6%	46.9%	1.2%	6.2%	0.0%	2.5%	4.9%	2.5%	14.8%	1.2%	11.1%	0.0%
農林漁業	11	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	72	6.9%	23.6%	5.6%	6.9%	4.2%	1.4%	2.8%	5.6%	29.2%	0.0%	13.9%	0.0%
学生	27	3.7%	18.5%	3.7%	3.7%	7.4%	0.0%	0.0%	11.1%	37.0%	3.7%	11.1%	0.0%
主婦・主夫	144	5.6%	41.0%	7.6%	5.6%	4.2%	0.7%	2.8%	6.9%	16.7%	0.7%	4.9%	3.5%
無職	218	7.8%	35.8%	6.0%	8.3%	2.3%	3.7%	3.7%	2.8%	15.1%	1.8%	6.9%	6.0%
その他	28	0.0%	28.6%	10.7%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	25.0%	0.5%	0.9%	16.5%
地区別													
中央区	251	6.8%	33.9%	4.8%	6.4%	3.6%	1.6%	3.6%	5.2%	20.7%	2.4%	8.8%	2.4%
東区	264	4.5%	36.0%	8.0%	7.2%	2.3%	3.0%	2.3%	5.3%	25.0%	0.0%	4.9%	1.5%
西区	109	4.6%	37.6%	6.4%	3.7%	6.4%	4.6%	1.8%	6.4%	13.8%	1.8%	8.3%	4.6%
南区	190	6.8%	33.2%	4.7%	5.8%	2.6%	3.2%	5.8%	4.7%	18.4%	1.6%	9.5%	3.7%
北区	187	4.8%	39.0%	5.3%	7.0%	2.1%	2.1%	1.1%	5.9%	18.2%	1.6%	10.2%	2.7%

問27. あなたが問26で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

◆いただいたご意見から主なものを抜粋。

1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見

◇緑について

- ・緑が多いのはいいが管理ができてない。草が道路まで生い茂っていたり、木が電線に伸びていたりでとても見苦しい。時期を決めて管理してほしい。
- ・温暖化で暑すぎるので、木を植えて木陰を作ればいいと思う。

◇自然について

- ・熊本市内の自然環境は他県の主要都市に比べると豊かなほうだと感じているが、ここ近年、昔からの自然は減少してきているように感じる。自然の維持、保全の取り組みを引き続き推進していく必要がある。
- ・周りの自然が幼少期に比べて少なくなっており、それに触れる機会も減っている。
- ・20年前ほどによく見た生物を見なくなった。

◇その他

- ・自然と街の機能が両方あることが熊本市のいいところだと思う。街並みの美しさも大切だが、今ある自然を活かした街づくりをして欲しい。

2「地下水の状況（水質や量など）」についての意見

◇地下水保全について

- ・大型施設や大企業の参入による地下水保全のバランスは行政でイニシアティブをとって管理していただきたい。水の循環は、リサイクルと同様にしっかりと軌道を確認してほしい。
- ・熊本の貴重な財産は地下水で、地下水の質の保全は自然環境の保全に繋がる。生活水が100%地下水で賄われていることは、県民の誇り。

◇水質について

- ・半導体企業の集積により、地下水の減少よりも汚染の方が気になっている。将来熊本の水のブランドイメージに傷がつくのではないかと。
- ・半導体企業の進出による影響について、水質や量の調査はどれくらいの頻度で行われていてその結果はどんな形で市民に還元されているのか。正確な情報公開と対応策の公表をお願いしたい。
- ・とても水は美味しいが、年々カルキのにおいが強くなっているように感じる。水質が悪くなっていると思うので、将来の子ども達が安心して飲める様に維持していくべき。

◇水量について

- ・大企業の誘致で水が使われ、水前寺成趣園や江津湖の水量が減っていくことが気になる。
- ・降水量が減り高温の日が多い。加えて半導体企業では多量の水を必要とするので様々なところで水不足の問題が起きてくるのではないかと。
- ・半導体企業が大量の水を使用することで、環境が大きく悪化していくのではないかと将来に不安を感じている。

◇広報啓発について

- ・水資源を大切にしなければ生命の危機になりかねないので、勉強会や環境整備活動などを定期的に実施するといい。
- ・10年後、20年後、50年後を見越して、熊本市をはじめ、熊本地域全体で、地下水保全に取り組むべきであり、その機運をもっと高めていく必要があると考えている。その際は、データを表す、シミュレーション結果を表す等、専門家の意見、専門的知見による発信をより日常的に行っていく必要がある。
- ・熊本の地下水は日本にも世界にも誇れる貴重なものだと思っているが、有機フッ素化合物

の話題が独り歩きしてしまっていて、飲み水に対する不安を大きくしている。知識のない人にも『環境』というテーマを通して、水質についてわかりやすく説明があると安心することができる。

3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見

◇ごみの分別・ルール違反について

- ・ごみを捨てる際に分別していない方がいるのできちんと分別することが大事だ。
- ・道路にゴミ袋の中の物が散らかっていることをよく目にするので、収集場所、時間を守るべきだ。
- ・資源ごみの持ち去りが多くて酷すぎる。当然の様に必要な物のみ選んで袋から出してまで持ち去っている。

◇ごみの減量について

- ・使われるものが捨ててあり、リサイクル品として販売してほしい。
- ・生ごみを肥料に替えればもっとごみの量は減るのではないかな。

◇収集・回収について

- ・ごみ収集が夜中に変更されると、渋滞やカラス被害の解消に加え、リサイクル別に余裕を持って出せると思う。

◇広報啓発について

- ・ごみの分別収集のその後の様子や、何にリサイクルされているのかを、学校、事業の会社等も含めて広報すると、1人1人の自覚が生まれる。

4「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見

◇気候変動・温暖化について

- ・地球温暖化の為、異常気象で被害が大きくなっていることや、春・秋の季節が短くなり、暑さ、寒さの為、過ごしにくくなっている。本気で考えないと次の世代、その次の世代の人達がどうなるかが心配。
- ・地球温暖化を感じる事が多くなった反面、個人で手の届く範囲での対策があまりないと感じる。

◇省エネルギーについて

- ・長時間のアイドリングに対し、国で規制する必要がある。
- ・省エネすることで不便さがましになると、継続が難しくなることも考えられるので、もっと楽しく省エネができる取り組みがふえれば、実践に繋がっていく。
- ・デコ活をするための助成金や補助金をもっと増やしてもらいたい。

5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見

◇街並みについて

- ・マンションだらけのため熊本城が近くから見えなくなった。
- ・最近の街並みの景色は美しくはなっていると思うが、一方で緑が少なくなっている気がする。近所の公園では木が伐採され、山地や田んぼが住宅地になるなど時代の変化と言えれば仕方ない事ではあるが、鳥の鳴き声が聞こえるような街並みでもあってほしい。

◇公園や緑地について

- ・公園で遊んでいると、木があまりなく少しさみしい気がするので、こどもたちのためにも、緑とふれあう場所を多く作って未来に残すべきだ。
- ・都会に比べて景色は緑だが、公園整備がされていない。魅力的な公園が近くにない。制限も多く、公園で思いっきり遊んだり運動したりできない。

6「大気の状態」についての意見

- ・以前に比べて、PM2.5や空気の淀みを感じる。
- ・車の量が増加しCO2の排出量が増えており、地球温暖化への影響が心配。

7「河川など水辺の美しさ、清潔さ」についての意見

- ・河川や水辺の維持・管理が良く出来ている所とそうでない場所の落差を感じる。
- ・熊本県の河川周辺は藪になっておりゴミも結構捨てられている。平気でゴミを捨てる人もいる。
- ・水田が住宅地にかわり、今迄の用水路が行き止まりとなり、水が流れず澱んだ状態になっている。

8「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）」についての意見

◇騒音・振動について

- ・熊本地震後の復興工事に伴う騒音、振動。
- ・若者車両の騒音（特に朝方）について厳しく取り締まりしてほしい。交通マナーの向上を徹底してほしい。

◇悪臭について

- ・家の前の川に外来種の草が沢山流れてきてとても困っている。端に草が詰まると悪臭がする。そのたびに区役所に電話して対応してもらっている。定期的に見回りしていただいたらとても助かる。
- ・中心地（市街地）における極端な騒音、悪臭。どうしようもない部分はあるが、少しずつでも改善してほしいと思う。

◇動物による被害等について

- ・道路に放置されたゴミをカラスが振り回し、中身が散乱している。

9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見

◇道路について

- ・道路の白線が消えていて、わからない道路が多い。
- ・道路にひびが入って割れていて凹凸があってつまづくことが多く、整備されていない。

◇歩道・自転車道について

- ・車道と歩道の区別がはっきりしない場所がまだまだ多い。また、歩道の幅が極端に狭い場所も多く、車を運転していてよく危険に感じるシーンがある。
- ・道幅がせまく、車が渋滞していると、歩道をすごいスピードで並列の自転車が通ったりする。自転車専用レーンがあるといいと思う。

◇通学路について

- ・子どもたちがよく通る道路や歩道を、もう少し歩きやすいように整備してほしい。建物が邪魔で死角で見えないなど、周りの建物も考える必要がある。
- ・小学校の近くに、狭く危険な道路がまだまだ多く、特に高校生の自転車マナーが悪い。学校や家庭での再教育、指導が必要と感じる。

◇渋滞について

- ・渋滞が酷すぎるため排気ガスの量も多く、環境に悪いと感じる。また、公共交通機関を使っても、渋滞の根本的な解消にはならない上、乗り換えが不便。道路状況ばかりが気になり、自然や街並みの美しさを感じる余裕がない。
- ・交通渋滞の改善につながるような道路整備をより一層進めていってほしい。

◇街路樹や植栽について

- ・緑が多いが木が大きくなりすぎて管理が追いついていない。落葉や歩道、土手の草が車や歩行者の邪魔をしている。
- ・道路拡張による伐採。渋滞緩和に向けて道路を広げていくのは仕方ないが、代わりの緑の確保をしているのか。

◇公共交通について

- ・コミュニティバスのような小回りが利くバスを増やし、利便性を強化してほしい。
- ・市電の停留所の狭さの解消や市電の低床車両を増やしていただきたい。

10「環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）」についての意見

- ・これからを担う子ども達の為に環境美化活動、イベント、教育をもっと行うべきだと思う。
- ・地球温暖化や生活環境には住民が大きく関わるので、予算を使って常に情報発信して、熊本市が一番といわれるような啓発をしてほしい。

11 問題があるとは思っていない

- ・熊本市内の環境は少しずつ良くなっていると思うので、今は問題があるとは思っていない。

環境に関する市民アンケート調査（お願い）

市民の皆様へ



「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和4年3月に策定した「第4次熊本市環境総合計画」に基づき環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進行管理を行っています。

このアンケート調査は、その検証指標等に関連して、市民の皆様お一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感され、どのように行動されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えています。

皆様には、お忙しい中お手数ですが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年(2024年)11月 熊本市長

大西一史

■アンケート調査の対象者について

このアンケート調査の対象者は、令和6年(2024年)11月11日現在で熊本市に住所を有する18歳以上の方々の中から3千人を無作為に抽出させていただきました。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。また、アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をおかけしたりすることはございません。

■回答方法（以下のいずれかの方法）

（1）インターネットによる回答

- お手持ちのスマートフォンで、右記二次元コードを読み込んで回答してください。（※回答は1人1回・本人のみ）
- 令和6年12月27日（金）までに回答してください。



（2）アンケート用紙に直接記入して回答

- 封筒あて名のご本人が回答してください。（※代筆可能）
- 諸事情によりご本人の回答が難しい場合は回答不要です。（※書類は破棄してください）
- 調査票は同封の返信用封筒で令和6年12月27日（金）までに投函してください。（※切手不要）
- 返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427（直通） 電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでの回答方法の詳細については、裏面をご覧ください。

インターネットでの回答方法について

インターネット（スマートフォン、パソコン等）での回答がとても便利です。
インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

1. アクセスする



◆URL◆

<https://logoform.jp/form/TGU5/765171>

2. 回答する



※回答に要する時間は約15分です

環境に関する市民アンケート調査

調 査 票

※ 回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものがあります。

問 1 あなたは、熊本市の良好な環境※が守られていると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる

2. やや感じる

3. どちらともいえない

4. あまり感じない

5. 全く感じない

問 1-1 へ

※「良好な環境」とは

熊本市では、市民が健康で文化的かつ快適な生活を持続的に営むことができる以下の四つの環境に分類しています。

① 生活環境 ② 自然環境 ③ 歴史的・文化的環境 ④ 地球環境

(問 1 で 3、4、5 を選択された方にお尋ねします。)

問 1-1 どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつでも可)

1. 騒音・振動・悪臭・大気汚染といった生活環境の悪化

2. 緑や水などの自然環境の悪化

3. 歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退

4. 身近な生きものの減少や外来種の増加

5. ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題

6. 地球温暖化の進行といった地球環境の悪化

7. 環境教育の機会の減少

8. 環境保全活動に市民が参加する機会の減少

9. 感染症等の影響による自然環境等に触れる機会の減少

10. その他 ()

問 2 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる

2. やや感じる

3. どちらともいえない

4. あまり感じない

5. 全く感じない

問3 「生物多様性※」について学ぶ機会（メディアや SNS の視聴、イベントや自然観察会での体験など）がありましたか。(1 つだけ)

- | | | |
|--------------|---|-------|
| 1. 学ぶ機会があった | → | 問3-1へ |
| 2. 学ぶ機会がなかった | | |

※「生物多様性」とは

地球上には何百万種類もの生物が存在し、これらの生物が、例えば食べる・食べられるなど、お互いを利用し、支えあうといった繋がりの中で生きていることです。私たちの暮らしは、水や酸素、食料や衣類、癒しや文化的価値など生物多様性に支えられています。

(問3で1を選択された方にお尋ねします。)

問3-1 どのような方法で学びましたか。(いくつでも可)

- | |
|-----------------|
| 1. 学校 |
| 2. 仕事 |
| 3. 環境学習イベント |
| 4. 自然観察会 |
| 5. 体験学習会 |
| 6. 出前講座 |
| 7. 公民館講座 |
| 8. テレビ・ラジオ |
| 9. 新聞や本、インターネット |
| 10. その他 () |

問4 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1 つだけ)

- | |
|--------------|
| 1. とても感じる |
| 2. やや感じる |
| 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない |
| 5. 全く感じない |

問5 お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1 つだけ)

- | |
|--------------|
| 1. とても感じる |
| 2. やや感じる |
| 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない |
| 5. 全く感じない |

問 6 中心市街地の「緑の質※」に満足していますか。(1 つだけ)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満である

※「緑の質」とは

緑の持つ様々な役割を活用することは、都市機能の強化、魅力の向上につながります。熊本市では、緑の役割を「緑の質」と表現し、以下の五つに分類します。

- ① 都市環境の維持・改善（木陰の提供、気温上昇抑制、生物の生息環境確保）
- ② 良好な都市景観の形成（緑の適切な配置による魅力的な街並みの形成）
- ③ 都市の安全性の確保（火災による延焼防止、水害・土砂災害の防止）
- ④ 健康づくり・レクリエーション空間の提供（休養・休息の場の提供）
- ⑤ 精神的充足（うるおいややすらぎの心理的効果、地域コミュニティの促進）

問 7 お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1 つだけ)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満である

問 8 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 9 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 10 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。

(1 つだけ) (例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 11 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)

1. 積極的に参加している
2. できる限り参加している
3. 参加したことはないが、今後参加してみたい
4. 参加したことはないし、今後も参加したいと思わない

問 12 紙のごみカレンダーをもっと便利にしたスマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1 つだけ)

1. 使用している
2. 使用していない

問 13 この 1 年間にごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1 つだけ)

1. 11 回以上目撃したことがある
2. 1～10 回程度目撃したことがある
3. 目撃したことはない
4. 分からない



問 13-1 へ

(問 13 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。)

問 13-1 目撃情報を LINE (ライン) や電話で市に通報しましたか。(1 つだけ)

1. LINE (ライン) で通報した
2. 電話で通報した
3. LINE (ライン) と電話どちらでも通報した
4. 通報しなかった

問 14 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

1. 対象となる範囲を知っている
2. 申請方法を知っている
3. 相談窓口を知っている
4. 知らない

問 15 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。

(1 つだけ)

1. 規制する必要がある
2. 規制する必要はない
3. 従来のたばことは規制内容に区別が必要である
4. どちらでもよい

問 16 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1 つだけ)

1. 知っている
2. ある程度知っている
3. 知らない

問 17 プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1 つだけ)

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない

問 18 「食品ロス」について知っていますか。(1 つだけ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

問 19 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。(1 つだけ)

1. 心がけている
2. 特に心がけていない

問 20 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

1. 残さずに食べる
2. 食べきれ的分だけ作る
3. 冷凍保存を活用する
4. 残った料理を別の料理に作り替える（エコレシピの活用）
5. 今ある食材を確認してから買い物に行く
6. 使いきれ的分だけ買う
7. 賞味・消費期限が近いものから食べる
8. すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ（てまえどり）
9. フードドライブへの提供
10. 外食の際に食べきれの量を注文する
11. 外食時、食べきれなかった分を持ち帰る（ドギーバッグの使用）
12. 3010（さんまるいちまる）運動を実施する
13. 「食品ロスゼロ協力店」（旧：「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店）を利用する
14. 食品ロス削減に取り組んでいない
15. その他（ ）

問 21 地球温暖化対策として実際に導入している、もしくは取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用
2. エコドライブを心がけた車の運転
3. 積極的な公共交通機関の利用
4. 住宅の ZEH*化または ZEB*化
5. 太陽光発電の導入
6. 蓄電池の導入
7. エネファームの導入
8. 二重窓にするなど住宅の断熱化
9. 省エネ家電の購入や使用
10. LED 照明の使用
11. エコバッグの使用
12. 再エネメニューの電気契約
13. 温暖化対策に取り組んでいない
14. その他（ ）

※「ZEH（ZEB）」とは、

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、住宅（建物）の中で使うエネルギーと創るエネルギーの量が、年間で差し引きおおむねゼロになる住宅（建物）のことです。

問 22 「デコ活※」または「COOL CHOICE※」について知っていますか。(1つだけ)

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味はよく知らない
3. 知らない

※「デコ活」とは、

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、「CO2を減らす (Decarbonization: 脱炭素)」、「環境に良いエコ (Eco)」を含む「デコ」と「活動・生活」を組み合わせた新しい言葉です。

※「COOL CHOICE (クールチョイス)」とは、

地球温暖化の防止に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動の愛称です。

問 23 熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

1. 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
2. 地下水の状況 (水質や量など)
3. ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
4. 地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進
5. まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
6. 大気の状況
7. 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
8. 生活環境の快適さ (騒音や振動、悪臭などがないか)
9. 環境に配慮した道路、歩道などの整備
10. 環境について学ぶ機会や情報を得る機会 (環境保全イベント等の開催)
11. 問題があるとは思っていない

問 24 あなたが問 23 で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1 ご年齢

1	10歳代	2	20歳代	3	30歳代
4	40歳代	5	50歳代	6	60歳代
7	70歳代	8	80歳代	9	90歳以上

2 ご職業

1	会社員（パート含む）	2	自営業	3	農林漁業
4	公務員	5	学生	6	主婦・主夫
7	無職	8	その他（	）	

3 お住まいの地区

区	居住地区（小学校区） ※お住まいの <u>校区</u> に○をつけてください。
中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、碩台、託麻原、白山、春竹、本荘
東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、楡木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

「第4次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【令和6年度(2024年度)版】

発 行 令和7年(2025年)7月
編 集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
